

六稜会報

INDEX

●巻頭言
六稜会館竣工にあたって
稲畑勝雄(56期)2

●巻頭言2
創立130年を間近にして
中垣芳隆3

●母校はいま...
平成の校舎大改築終わる
鎌田俊一(81期)4

●特集・CloseUp六稜会館
プレ・オープン盛大に
8099・9099政策推進委員会6

六稜会館ビジュアルガイド
広報委員会8

「六稜トークリレー」にご参加ください!!
会館運営委+8099・9099政策推進委10

六稜会館・ご利用の手引き
六稜会館運営委員会11

●支部活動
東京六稜会・総会報告
中村伸一(84期)14
東京六稜倶楽部について
大山利雄(56期)15

PARTY REPORTS16

福井栄一「上方学」出版パーティ、
親梅会2003、内藤伸彦展2003、
「金鹿」きき酒会2003、古書ボラン
ティア2003、五九老北棋会、71期
同期会、北中記念碑の会2003、水
友会活動報告会、吹奏楽部第6回定
演、65期同期会、上山弘子・琉球藍
染め展、六稜vs桃陰ゴルフコンペ、
ゴルフ・ジュニア大高戦、船場大阪
を語る会に藤澤友吉郎さん、八木啓
代ライブ、ラガークラブ創部80周
年記念祭、「亀岡詩情」織田清 写真
展、第14回期別対抗ゴルフ、グル
メスポット美美庵オープン、明石歩
道橋事故レクイエムコンサート、講
演会「手塚治虫と昆虫」、80期同期
会【予告】

●事務局だより#007
同窓会を変えよう
新原章弘(65期)23

会務・会計報告24

六稜文庫26

「手塚治虫少年の実像」、「ラ・ヴィ
アン・ローズ」、「上方学」北野高校
野球部年史

母校の窓28

水まきボランティア、職員異動、全国
大会/近畿大会出場激励金、国際交流
活動、クラブだより

大学合格者数一覧31

NO.41
2003.9.1

六稜会館竣工にあたって

六稜同窓会 会長
稲畑勝雄(56期)



清々しい秋空のもと、皆様お元気のことと存じ上げます。

さて、ご高承の通り、今秋の学校創立130周年記念総会を前に、かねて建設を進めてきた六稜会館が竣工を見ました。

会館建設のための募金活動につきましては再三、再四お願いを繰り返してまいりましたが、目標額には到達しなかったものの、おかげさまで3億1千万円を超える結果に終わりました。

募金の性質上法人関係の応募が限られ、かつ特別の大口が極めて少ない個人中心の枠組みの中でこの数字が達成されましたことは、多数の善意が幅広く結集されたものとして、それなりの重みを持って受け止められるべきものと申せましょう。

振り返ってみますと、創立100周年のときに地域社会への感謝を表すものとして寄贈された大阪城公園の梅林は、今や市民の憩いの場として広く親しまれており、また120周年の際には母校の国際化に些かでもお役に立つようにと小額ながら「国際交流基金」を創設したのも時宜を得た企画であったと存じます。

これらに対して、今回の会館建設は各種活動の拠点として同窓会自身が自前の足がかりを持つことであり、今後は事務局と一体化された有機的な動きが期待されます。いわば今までの借家住まいから自分の持ち家に移転したようなもので、それだけ同窓会に対する愛着も増し、いろいろな会合が数多く開かれるようになることが予測される次第です。

既に常任理事会、理事会などで会館の三階ホールを会議室として使用していますが、案外(?)居心地も良く、やはり「百聞一見にしかず」そしてまた見るだけでなく使ってみることが親しみを覚える原点であることを痛感しているところです。

要はできあがった以上、これからどれだけ有効に活用していけるかどうかで、特に今後春秋に富

む若い世代層の方々には息長くジックリと取り組んでいって欲しいと思います。

考えてみると、私が属する56期は今年が卒業満60年で級友の三分の一以上は既に物故しており、残った者もこの先同窓会をどれだけ利用できるかには自ずから限度があります。一方、若い方々の場合はまだ、「同窓会」そのものへの愛着が固まらず、折角の拠点の意味が充分意識されないうらみがありますが、これは、私たち自身のことを振り返ってみても、「六稜」の有難みが分かったのは卒業後30年くらい経ってからであったことを思うと、そんなに急ぐ必要はない、とも云えそうです。

大切なのは、同窓会構成の基本である各期々々の人間関係というヨコ糸がいかにしっかりと作られ、維持されているかということで、これさえしっかりしていれば全体を結ぶタテ糸は自然に出来るものだろうと思われまふ。

従って、各学年を代表する理事、常任理事その他世話役の方々の責任は大きいと申すべきで、そのためには一人ではなく各期毎に複数のリーダーの存在が必要でしょう。無関心な人もいるでしょうが、それ以上に誰かが音頭をとってくれることを待っている人たちがたくさんいることを忘れてはならないと思います。

いずれにせよ、先ずは11月1日の創立記念行事に一人でも多くの方が参加され、六稜会館に直接触れていただくことがこれからの会館活用の出発点になりますことを期待し、祈念してこのご挨拶を終わります。

創立130年を間近にして

大阪府立北野高等学校 校長（六稜同窓会 名誉会長）
中垣芳隆



9月の声を聞き、暦の上では秋とは言え、残暑の厳しい折り柄、六稜同窓会会員の皆様方にはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素から母校の教育の充実・推進にお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

とりわけ、創立130周年の記念事業として六稜同窓会が総力を挙げて取り組まれ、多くの会員の皆様方の浄財の結晶である六稜会館の完成に心からお祝いを申し上げます。経済状況の厳しい時代における大事業の決断であることに思いを致しますとき、皆様方のお慶びと感慨は入りのものであらうと拝察するところでございます。新しい同窓会館は、今後、その持てる機能を存分に発揮し、21世紀に更なる飛躍を期待される北野高校のシンボルとなるであろうことを強く信じているところでございますが、このような六稜会館を大阪府にご寄贈賜りましたこと重ねて衷心よりお礼を申し上げるところでございます。

施設整備に関わっては、平成の校舎改築も主要部分はすべて完了し、正門周りなどごく一部の残る部分も最終段階に達しており、歴史と伝統を礎に未来を展望する六稜会館を備え、11月の記念式典には装いを新たにすることとなります。

六稜会館の正式なお披露目は、創立130周年記念式典のとりおこなわれます11月1日に挙行されることとなっておりますが、既に四月以来、同窓会の皆様方の各期の会合等に利用され、将来の賑わいを十分に伺い知るところでございます。

ところで、「国家の価値は、結局国家を組織する人民の価値である」というJ.S.ミルの言葉がございます。申すまでもなく、北野の名があまねく世に知れ渡っておりますのは、同窓生の皆様方のご活躍に負うところでございますが、今この時、皆様方の母校北野に学ぶ生徒達も、勉学にクラブにと、何事にも一生懸命取り組む六稜のスピリットを遺

伝子として受け継いでいることの一端を、紙面を借りて紹介させていただきたく存じます。

ご案内のとおり、北野高校は昨年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールとして大阪府で只一校指定をいただきました。本事業は科学立国としての我が国を担う人材を育成することを目的とするものですが、現在は、第1学年、第2学年においてスーパーサイエンスコースを設け、理科・数学に高い興味・関心を示す生徒達に対し、他のクラスとは別のカリキュラムで、大学の先生方の指導も得ながら、実験・実習を豊富に取り入れた授業をいたしております。

昨年度は、研究指定を受けたのが4月中旬であったことから、別立てのカリキュラムを用意することは不可能であり、当時の1年生でスーパーサイエンスコースを希望した生徒達は、平日は、他の生徒とともに通常授業を受け、加えて土曜日、長期休業中、更に週1日は、午後6時から7時40分まで特別授業を受けることとなりました。

北野の授業はただでさえ充実しているところに、プラスアルファとして加わることになったことから、教える方の負担も相当なものが予想されましたが、何より生徒達がついてこれるだろうかという不安を抱きながらの船出でありました。しかし、生徒達は夏の暑さ、冬の厳しさ、部活動との両立など様々なハンディを克服し、北野における生活を充実した価値あるものとしてくれました。

同窓会の皆様方には、こうした生徒達に代表される後輩との出会いも楽しみの一つとして、11月1日の130周年記念式典には万障お繰り合わせの上お越しいただきますようお願い申し上げ、ごあいさついたします。

平成の校舎大改築終わる

大阪府立北野高等学校 教頭
鎌田俊一(81期)

11月1日に北野は創立130周年の記念の日を迎えます。その日を期して全ての新しい装いが整うように、いま最終の工事が急ピッチで進められています。

保存改修を諦め全面改築の断を下してから12年、基本設計案の決定から9年、校庭に最初の槌音が響いてからでも実に足掛け6年に亘った工程のその全てが今終わろうとしています。

昨年の6月、昭和6年以来三万人に及ぶ同窓生を育んだ昭和校舎もその東部分を最後として姿を消しました。欧学校以来中津時代までの約60年間の卒業生が五千人に満たないことを思うと、昭和校舎は北野にとってまさにかけがえのないシンボリックな存在でした。昭和校舎を青春の記憶とともにいとおしみ今なお惜しむ先輩方の切なる思いを十分に受けとめながらも、これからこの新校舎で青春を紡いでいくであろう現在のそして未来の北野生に、この校舎がいつまでも愛され心に刻まれることを願うばかりです。

新校舎の計画段階から竣工まで立ち会うことが出来た教員の一人として、その間の経緯を個人的な所感を交えて簡単に書きとめておきたいと思います。



六稜天文台(仮称)、母校屋上に着々と

130周年記念事業の一環として50cm反射望遠鏡とドームの設置が地学研究部+OB会を中心として進められている。写真はドームの基礎部分(8月11日現在)。

現在、望遠鏡の制御装置を購入するための資金援助を募っている。1口3,000円。「大阪府立北野高等学校地学研究部」宛、郵便振替00960-9-241653。連絡先は顧問の吉田久昭先生まで。

1991.9【保存改修を断念し全面改築へ】2年に及ぶ耐震強度などの予備調査の結果「保存改修見積21億、耐用年数36年、関東大震災規模には耐え得ず」との結論であった。4年後の1月17日阪神間に激震が走った朝、最悪の事態の予感に慄きながら登校、その無事な姿にほっと胸をなでおろしたが、昭和校舎にとっては最後の致命的な打撃であったのかも知れない。1992.7【新校舎「基本理念」、府へ提出】「新校舎による基本理念」を教員の総意として、要望書にまとめた。新時代にふさわしい多彩な教育プログラムが展開できる施設・設備であること、および人間的交流やコミュニケーションが図れる場として機能すること、デザイン的にも優れていることなどを盛り込んだ。

1993.3【「基本設計案」第1案、提示される】校内で検討・協議を重ねたが、さまざまな現実的制約の前で検討も行き詰まりの状態にあった。そんな中で85期の竹山聖氏から新たな建築プランの提案があり、事態は急展開して行くことになる。1994.7【基本設計確定】「基本設計案」第1案提示から約1年半の検討期間の後、曲折を経て高橋上田設計事務所・竹山聖氏共同設計になる「基本設計案」が最終的に確定した。以後、1998年までの期間に実施設計案が検討された。

1998.8【第1期新築工事始まる。】テニスコート・旧図書館がまず撤去され、遂に杭工事が始まる。グラウンドのほぼ全面に工事フェンスが張り巡らされ、グラウンド系の部活動・体育授業は河川敷に確保された仮設グラウンドで行われることに。体育大会もこの年から万博グラウンドで開催。5年に及ぶ受験の時代の始まりであった。

2000.3【第1期新築工事終了】管理棟部分・3年教室が完成。プレハブ教室・旧校舎・新校舎の3箇所では授業が展開されることになり、教員・生徒は工事の騒音に耐えながら東奔西走の日々。3年の新教室に同窓会の寄付によりクーラーが設置されたのがせめてもの救いだった。この年、昭和校舎最後の卒業式、平成校舎最初の入学式が挙行された。

2000.6【第1期撤去工事始まる】ついに昭和校舎の取り壊しが始まった。正面玄関の西側、講堂を含めた西半分が撤去される。コンボの鉄の爪が容赦無く教室の壁を取り壊して行く傍らで、玄関周りでは保存用のタイルの剥離作業が静かに進められていた。

2001.1【第2期新築工事始まる】

2002.3【第2期新築工事終了、移転作業終了】新校舎の建設工事の全てが終了、三学年揃ったの新校舎での生活が始まった。

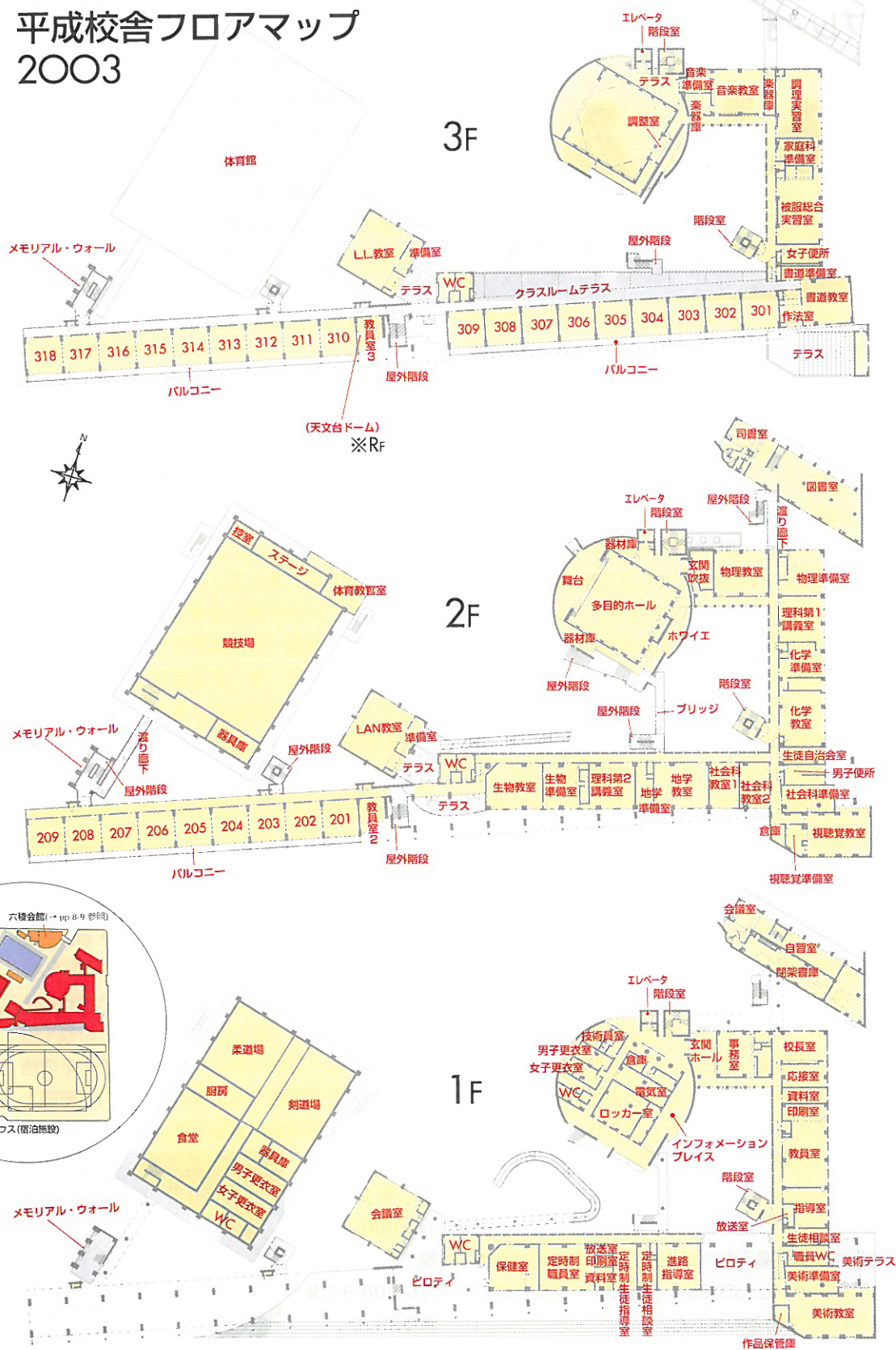
2003.2【グラウンド工事完成】旧校舎の撤去も全て終わり、昭和校舎跡にグラウンドも整備、残るはグラウンド西半分のテニスコートと球技コート及び周辺環境整備工事のみとなった。かつて北野を彩っていた緑の多くは失わざるをえなかったが、新校舎中庭とグラウンド中央部にかつての場所そのままに残すことの出来た楠の大木が、訪れる卒業生の追憶のよすがとなればと願っている。

【セミナーハウス改修工事終了】昭和55年に増学級対策として建てられた第2新館をセミナーハウスとして全面改修。部活動の合宿や研修などにも利用できるよう宿泊設備を備えた施設として生まれ変わった。今夏からすでに合宿に利用されているが、クーラーを含めた付帯設備の整備がまだ残されている。

【六稜会館竣工】会館の詳細については他に譲るが、会館に隣接して作られる新しい正門横に、かつて旧校舎屋上にあり校舎取り壊しの際に切り取られ保管されていた「北中」のモニュメントが据え付けられた。新校舎西端に直立する戦時中の弾痕の残る西壁とともに、昭和校舎を語り継ぐモニュメントとして訪れる卒業生の心に印象深く刻まれることだろう。

2003.10【環境整備工事完成】かつての旧校舎はコンクリート堀に囲まれていたが、新校舎の周囲には緑地帯が設けられ、ほぼ全周アルミの格子フェンスとなり、明るく開放的な空間を形成する。新たな空間の形成が新たな時代に向かって北野の未来を予祝するものであることを祈りたい。

平成校舎フロアマップ 2003



プレ・オープン盛大に

8089・9099政策推進委員会



【総合受付】86・89・91の3期持ち回りで、1時間交替でイベント総合受付を担当しました。注意事項の引継ぎが今一つだったのか、会館3階で「アンケートって？」という方もおられましたが、事務局や先生方のご協力により無事、務めを果たせたと思います。

【シンポジウム】稜声会の美しく、時に迫力のあるコーラスの後、北野OBである精鋭4名のパネリストをお迎えし、約2時間にわたる白熱の議論は、聴衆参加の約80名のOBにとっても、テーマである「同窓会館の運営」を超えて数々のヒントを得られたものと思われます。

徳岡コーディネータの「いずれの各氏も情報発信の役割を果たされている」との発言の通り、鎌田先生は教師として、大江氏は建築家として、中井氏は博物館の運営から、橋本氏はラジオを通じて、それぞれ「何をどう伝えるか」的確なコメントが続きました。

「同窓会に限らず、人々の時間軸の短縮によりコミュニティが成立しにくくなっており、目的の明確な集まりが求められている」と大江氏。橋本氏はそれを「パーティ的」と呼び、ラジオのキャスターが街中でリスナーから本当に親近感を持って接されている現実（そこが一方通行型のテレビと大きく異なる点）を指摘。さらに中井氏は「自分は人と違う人生を歩んできたと思うが、このような質の違う人間同士の交流が同窓会の本質では」と示唆。大江氏が「オンとオフ…現在はオフが求められている」と提起すると、鎌田氏は「今の子供たちはオフに偏る方向ではないか」等…同窓会論に限らず「人と人の接がり」論がテーマの行方に見えてきた感がありました。

「情報はITで。だが、やはり実際に会うことが大事。

一方通行でない真の対話が重要」との大江氏の発言には、誰も異論を挟む余地は無く、2時間にわたるパネリストの白熱の意見交換により、質疑応答の時間は懇親会場に回されることとなり、シンポジウムを終えました。（黒木敏郎・91期）

【88期バザー奮戦記】いらっしゃる皆さまに楽しんで貰え、かつ六稜会館のプレオープンにふさわしいイベントを…ということで、88期理事から「バザー」というアイデアを提案。最終的には、運営も88期が中心になってお引き受けすることになりました。

【バザーの華やかさは「品物」がいのち】まずは同期の皆さんを中心にメールや葉書で呼びかけ、出品を募ることに。品物は、買っていただく皆さんに喜んでいただけるよう「出品者自身が買いたいと思える物」とし、いわゆる「不要品」や「生もの」はお断りすることとしました。

当初はどれほど集まるか不安でしたが、最終的には196点+α(当日持込)も集まり、大阪近辺はもとより東京・米国・はてはブラジルからも送ってくださる方がいて、本・アクセサリ・カジュアルウェア・ビデオ・時計など、本当にいろいろなアイテムが寄せられました。なかには宝塚歴代スターの生写真500枚という珍品もありました。

【バザーの成功は「人」が肝心】当日は88期から総勢42名の方が協力していただけることになり、10時から設営・展示の準備、13時から販売を開始しました。小雨混じりの天候で参加者数が少ないのではと懸念されましたが、14時を過ぎる頃から各コーナーとも大勢の人がみえ、品定めをする人、もっと安くと値切る人(さすが関西人)で大変賑わいました。なかでも「あてものコーナー」は1回千円の福袋式になっており早々と30個を完売、その他のコーナーも17時までにはほぼ売り切れ、総売上額16万2,350円は会館建設の寄付金としてお渡ししました。この他に年会費が4万2,000円、会館への寄付が8万6,000円も集まりました。



【皆でやれば楽しい】最初は本当にうまくいくだろうかと心配したバザーでしたが、いろいろな人に助けられ、多くの人が気持ちよく協力していただき、私自身も楽しみながらバザーに参加することができました。同窓会活動というと、どうしても義務的になり少数の人に負担がかかりがちですが、決してそれだけではなく、皆が楽しく同窓の繋がりを強めることができると感じました。これから日頃のめな同期会活動をベースに、このような機会には88期としてまとまりのある協力ができると思います。（安井昌子・88期）



【稜声会合唱団】

35人のメンバーでアカペラ（伴奏無し）合唱3曲を歌わせていただきました。

少しでもイベントに協力できたことを心より嬉しく思います。演奏してみて率直な意見を申し上げますと、音楽演奏に限って言うと都合の良い点とそうでない点を感じました。小さな音でも拾うのでマイクなしの生音による独奏/独唱や少人数編成の器楽・声楽アンサンブルには向いているでしょう。200～300人位が入るホールと考えれば使いやすい広さです。逆に音が響き過ぎて音量がすぐに飽和してしまいます（大浴場に似た感じ）。歌い手からすると自分の声がよく判別できず、ますます大声を出してしまいがちで結果、聴衆にとってはやかましすぎるということになります。これは迫力があるというとは別次元の話です。壁に吸音板等を設置すればかなり改善できるでしょう。また、できれば備え付けのピアノも不可欠と思います。稜声会で8/3の演奏会に便乗して基金を募っていますので、うまく金額が集まりましたら電子ピアノを寄贈させていただく予定です。六稜会館が音楽活動の発表の場としても有意義に利用されることを心より期待します。（坂口和彦・90期）

【シンポジウムを終えて】六稜会館をどう生かすかというテーマはいわゆる箱物と揶揄される公共施設のあり方とも共通する課題でもあり、業務を通じ日々考えさせられてきた問題の延長線上にあり

ました。

それだけに企画・進行にも無理なく、熟意を持って取り組むことが出来ました。文化の尺度ともいわれる建築が、無駄な器、箱物と表現される事に常々憤りを感じていましたが、それが有効に利用され、本来の目的である交流の促進や心の拠り所として活用されなければ、そう思われても仕方ありません。果たして六稜会館は生かされました。出会いあり感動あり、空間には歌声が響き(過ぎ?)笑顔で包まれたのです。いろいろと困難もありましたが意味のある建築であることが立証されたわけです。しかし、工事は終わったもののこれからが我々にとって本当の始まりなのです。

今回の経験を礎に更なる良い企画を続けて同窓会を活性化し、北野に、同窓会に入って良かったと思える機会をもっともっと提供することで、ここに縁あって集う人々が日常生活での癒しや仕事の励みにすることが出来れば、交流の輪はきっと大きく広がるでしょう。会館は同窓生の良き交流を育むきっかけであって欲しい、そうあるべきと願い続けてきました。建設や寄付を巡り、いろんな不協和音もありましたが、絆を深めるための会館づくりで逆に揉めるのなら何のための同窓会か？という思いで関わってきましたので、この日の感激は格別なものでした。

多大なる苦勞をされてきた事務局の皆さん、建設委員、工事関係者の方々の努力も少しは報われたのではないのでしょうか。パネリストの皆さんはそれぞれ困難に立ち向かいそれを乗り越えていく六稜魂を持った人たちでした。そしてイベントを支え盛り上げてくださった方々、このように立派な先輩後輩、友人達と時を過ごし有意義な場を共に出来た事を誇りに思います。（徳岡浩二・92期）



●特集：CloseUp六稜会館(2)

六稜会館ビジュアルガイド

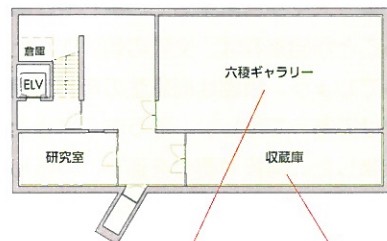
広報委員会

photo : SHIRATORI Yoshio / ZOOM



六稜サロン

B1F



六稜ギャラリー

収蔵庫



テラス

スロープ



表紙解説●「SEI-HO」(聖方)

想像のカメラは、細胞の中から急速な後退をはじめ、その視界を広げながら宇宙に至る。その途中できられたいくつかのショット。そこに人の生活、人の社会。そこに人の世界。

人は様々なモノを箱の中にいれ、様々な箱の中に居る。箱は並び、重なり、また崩れる。

人の心はその向う方角を求める。その心を受け、かかえいだいてくれる聖なる方位。それも、また箱の中。

箱の中の遠近法はそれぞれに歪み、集積する箱の構成ときしみの音をたてる。でもそれが人の営み。その中にこそ聖なる方位がある。

人の社会の俯瞰文様。人の世の聖なる方形。

和太守卑良(74期)



SEI-HO 聖方

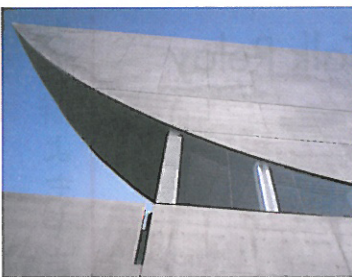
陶板

[800×2400]mm×6枚組

※和太氏、六稜会館に寄贈

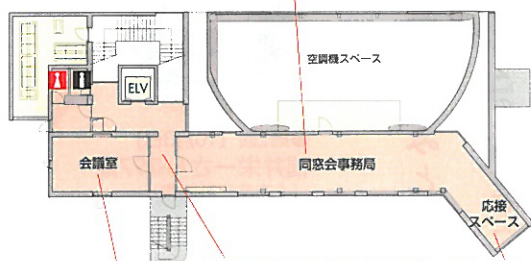


同窓会事務局



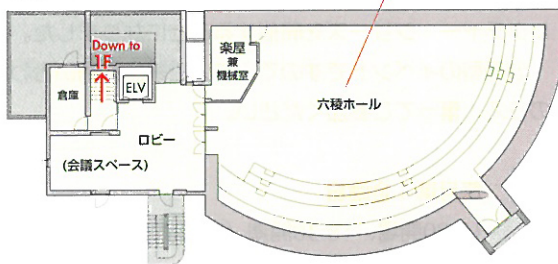
六稜ホール

2F



[注]本フロア(赤色ゾーン)へはエレベータ(ELV)でお越しください。
※館内の階段は2Fを通過しています。

3F



六稜ホールで再生可能なメディア(デッキを常備しています)



※PC(パソコン)は接続可能ですが常備していません。各自でご持参ください。

↓ご覧のテーブルクロスを紳装テキスタイル株式会社さま(代表取締役 大瀬義重氏・68期)より一式、六稜会館3Fホールにご寄贈いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

会議室



応接スペース



会館建設募金終了のご報告とお礼

3年間にわたりました六稜会館建設募金は、本年4月30日をもちまして全て終了させていただきました。平成12年5月1日以降、まる三年間を通して、皆様方の温かいご理解とご協力を賜りましたことを、ここに厚く御礼申し上げます。

- この期間に皆様方から賜りました浄財は、
- ・募金者/社総数のべ12,325名
- ・募金総額は313,044,242円

の多くに上りました。謹んでご報告申し上げます。昨今の厳しい環境におきまして、目標額3億5千万円に対して89.4%の達成というのは誇り得る実績であったと感謝いたしております。

募金開始以来、この間二度に亘る期間延長を大阪国税局に申し入れ、免税措置等の指導を受けてまいりましたが、各年度での実績は下記のとおりです。

- ・初年度(平成12年5月1日～13年4月30日) 188,536,213円
- ・2年度(平成13年5月1日～14年4月30日) 81,160,174円
- ・3年度(平成14年5月1日～15年4月30日) 43,347,855円

募金につきまして多大なご協力を戴いたとはいえ、目標額への達成には到っておりません。その間、会館建設につきましては14年5月から年末完成を目指して進めてまいりましたが、最終的には15年3月18日完工。無事引渡しを受け、即日大阪府へ採納いたしました。

建設総費用と募金との差額につきましては、25ページに報告いたしておりますように、過去に積み立てられていました基金を活用させていただきました。

●特集: CloseUp六稜会館(3)

六稜トークリレー Talk Relay にご参加ください!!

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

主催: 六稜会館運営委員会+8099政策推進委員会

共催: 各期同期会

後援: 大阪府立北野高等学校

六稜会館の正式オープン(11月1日・130周年式典)に
先駆け、本年9月より、下記の通り、各期持ち回り制の
レクチャー・シリーズを開催することになりました。

公開型のイベントですので、友人ご家族お誘い合わせ
のうえ、奮ってご参加ください。

日時: 毎月第1金曜日

18:00開場、18:30開演(約2時間)

会場: 六稜ホール(3F)

※六稜サロン(1F)も同時使用可

会費: 1コイン=500円(資料代)

飲食: 冷たいお飲物を準備しています。

(チケット制: 8枚¥1,000)

連絡: 詳細情報につきましては、逐次「六稜WEB」に
掲示して参ります。お見逃しなく。

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

●講師を選出してください!

係では、「アノ人の活躍ぶりを一度聞いてみたい」
とか、同期の中で「コイツの話を一度聞いてやっ
てくれ。面白い事業をしてるんだ」というような
推薦を募集しています。毎月、講師を各期の持ち
回りで「数珠繋ぎ」式に展開していきたいと思ひ
ます。

【講師謝礼】 暫定内規として「原則、卒業生は一律
1万円(交通費込み)、それ以外は都度、別途協議」
とします。

【講演と飲食】の共存/分離は、都度、講演者のス
タイルに一任します。

その他、各種ご意見は「kaikan@rikuryo.or.jp」
宛にメール、または事務局まで(お手紙あるいは
FAX等の書面にて)、よろしくお願い致します。

大阪辯 よもやま 囃



●第1回 [9月5日]
中井正明さん@64期
(なにわことばのつどい代表世話人)

上方学 でよみとく 陰陽道

映画『陰陽師2』の公開前後に



●第2回 [10月3日]
福井栄一さん@97期
(上方文化評論家)

古典芸能を 体験してみよう 狂言ワークショップ



●第3回 [11月7日]
安東伸元さん@65期
(大蔵流狂言方)

演 題 未 定

『年忘れ★六稜大名刺交換会』



●第4回 [12月5日]
岩田松雄さん@89期
(株式会社タカラ取締役)



●第5回 [2月6日]

※1月はお休みです。

←一点線で切り取ってご利用ください。六稜会館内でのみ使用可能です。

六稜会館チケット
Kaiho#41

¥2.00

六稜会館・ご利用の手引き

<http://rikuryo.or.jp/kaikan/>

六稜会館運営委員会

六稜会館をご利用の方は、今号に同封の利用申込書に必要事項をご記入のうえ、同窓会事務局までFAXまたはご郵送ください。

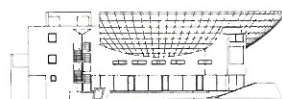
なお、校内（府の敷地内）にありますので、今のところ表だって営利な貸部屋事業を展開することができません。とはいえ、使用に応じて設備は老朽化いたしますので、「使用料」の代わりに施設の「維持」協力という名目で応分の負担をお願いしております。オープン当初の金額は右記タリフの通りです。すでに以下の利用実績があります。

月日	利用団体	維持協力金	お支払額	ご寄付
5.2	六稜水友会	5,000	5,000	
5.23	塗料六稜会	1,000	1,000	
6.7	61期総会	3,000	20,000	17,000
6.7	62期総会	3,000	20,000	17,000
6.9	65期打合せ	1,000	1,000	
6.13	//	1,000	1,000	
6.25	70期幹事会	1,000	1,000	
6.28	サッカー部OB会	2,000	7,000	5,000
7.5	78期運営委員会	4,000	10,000	6,000
7.6	剣友会	4,000	5,000	1,000
7.13	85期幹事会	1,000	1,000	
7.26	山岳部激励会	2,000	2,000	
8.3	大阪北梅田ロータリークラブ	2,000	2,000	
8.6	70期幹事会	1,000	1,000	

六稜会館

RIKURYO KAIKAN

since 2003



維持協力金

Tariff

単位 Units

朝 Morning	10:00 ~ 13:00
昼 Afternoon	13:30 ~ 17:00
夜 Evening	17:00 ~ 20:30

維持協力金 Charges

※学校行事ならびに同窓会公式行事に使用する場合は免除されます。

六稜ホール Hall (3F)	¥3,000 / Unit
会議室 Meeting Space (3F)	¥1,000 / Unit
会議室 Meeting Room (2F)	¥1,000 / Unit
六稜サロン Salon (1F)	¥2,000 / Unit
六稜ギャラリー Gallery (B1F)	¥2,000 / Day(終日)
マイク Microphones (3F/Hall)	¥1,000 / Day・Times
プロジェクタ Projector (3F/Hall)	¥3,000 / Day・Times
プラズマテレビ TV Monitor (1F etc.)	¥1,000 / Day・Times
サポーター Supporting Staff	¥1,000 / Hour・Person

※その他の機材等は順次、拡充の予定です。

申込方法など Important!

六稜WEB(ホームページ)・電話などで、あらかじめ「空き」を確認のうえ、利用申込書を提出してください(郵送/FAX)。運営委員会より追って許可書を発行いたします。

利用責任者は次の役割を担うものとします。机・椅子等の現状復帰。ゴミの収集と所定位置への運搬。電灯・エアコン・換気扇などの電源を切ること。施錠および鍵の返却。これらの補助にサポーターを依頼しても構いません。

その他の詳細は運営委員会までお問い合わせください。

〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内

Tel: 06-6306-0374 Fax: 06-6306-1335 Email: kaikan@rikuryo.or.jp

Rikuryo Kaikan Tariff / Kaiho#44

<http://rikuryo.or.jp/kaikan/>

創立130周年記念

男声四部合唱で「六稜の星」を唄おう!

数年前に59期の小林淳一が言い出して有志で男性合唱を楽しみ始めた。仲間の一が病に倒れ、リハビリの身体でなお参加し続けるのを励ますため、北中校歌を男声四部でハモル楽しみを得られたらと考えた。メンバーの弟で男声合唱の第一人者・北村協一先生に編曲を依頼し、素晴らしい作品を作ってくれたことが出来た。

時に、創立130周年記念行事の快挙を知り、これを祝して59期の有志が献呈する歌として認知してもらい、広く長く後輩の人々に親しんで頂ければ以って瞑すべしと考えた。幸いにして同窓会事務局の協力もあって我々の希望は叶えられ、ここに記念大合唱を計画し同窓各位の参加を呼びかけることにしました。多数のご参加をお待ちします。

【曲目】北野高校(中学)校歌 六稜の星(男声四部)

【年齢制限】なし(初級曲)

【練習】五回(於：六稜会館)

【レコーディング】合唱の完成を見て決める。

※参加希望の方に詳細案内と楽譜を送ります。下記までご一報を。

小林淳一(59期) Tel&Fax.06-6849-6555

北村雅一(59期) Tel&Fax.072-753-9360

美術の秋に絵を始めてみませんか?

やさしい水彩画、スケッチetc.

真野慶子の楽しい絵画サロン

10月3日(金)スタート!

【日時】月2回(第1・3金曜日)、13:30~16:00

【参加費】月2,000円

【会場】六稜会館3F

【指導】中元慶子(旧姓 真野) 65期

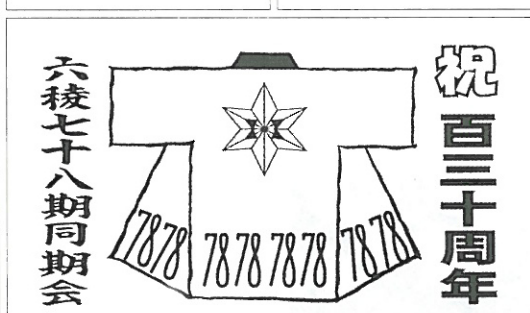
※お問い合わせは…

アトリエKei 中元慶子(旧姓 真野)

〒561-0883 豊中市岡町南2-3-20

Tel.06-6852-6439

稲畑産業株式会社 稲畑 勝雄 (56期) 〒542-8558 大阪市中央区南船場1丁目115-14 TEL 06-6267-6062 FAX 06-6267-6041 http://www.inabata.co.jp	六稜の星を胸に、同窓生、後輩の皆様のご活躍をお祈り致します 京都大学大学院工学研究科 物質エネルギー化学専攻 助教授 近藤 輝幸 (92期) 京都市西京区京都大桂 TEL 075-383-2508 FAX 075-383-2510 E-mail: terukun@sci.kyoto-u.ac.jp	東京農工大学工学部物理システム工学科 教授 佐藤 勝昭 (72期) 〒184-8588 小金井市中町2-24-16 Home page: http://www.tuat.ac.jp/~katsuki/	近視レーザー・白内障日帰り手術 フジモト眼科 院長 藤本 可芳子 (92期) 大阪市北区天神橋6-5-7 TEL 06-6351-1880 http://www.fujimoto-ganka.jp
医療法人 イノウエ矯正歯科 歯学博士 井上 博之 (ハートゴールド 85期) 池田市石橋2-16-2 TEL 072-763-0727 URL: www.inoueyousei.or.jp	タンゴヤ株式会社 美美庵 代表取締役社長 田丸 二郎 (85期) 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3丁目5番1号 TEL (06) 6231-6802 (代表) FAX (06) 6231-7325 E-mail: tamuraj@tangoya.co.jp	司法書士 横山 慶子 行政書士 事務所 横山 慶子 (88期) 土地家屋調査士 行政書士 事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目6番29号 TEL (06) 6364-7574 (代) FAX (06) 6364-7151	株式会社 白滝 代表取締役 社会法人日本ノリエ基金認定ノリエ 佐藤 友彦 (88期) 〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番6号 TEL 06-6351-4738 http://stc-21.com/shirataki/
製薬・トランスジェン・製薬・トランスジェン・生産・生産設備 三田理化学工業株式会社 代表取締役 千種 康一 (水泳部 園芸部 88期) 〒531-0076 大阪市北区大淀中2-8-2 TEL 06-6158-0971 (代) FAX 06-6158-2393 http://www.riceon.co.jp E-mail: chikusa@riceon.co.jp	母校の益々の発展をお祈りいたします 弁護士 藤田 さえ子 (103期) 大阪市北区西天満5-2-18 三共ビル東館 島田和俊法律事務所 TEL 06-6361-8277 FAX 06-6361-8363	株式会社 日立製作所 金融部 事業部 第1本部第1部 杉山 信行 部長 (バレー部 87期) 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 新丸ビル TEL 03-4235-5200 (直通) FAX 06-4235-5904 E-mail: nsugi@hitachi.co.jp	母校の益々のご発展をお祈り致します 西天満内藤ビル 内藤 壽一 (61期)
祝 創立130周年 六稜65期会有志	祝 創立130周年 六稜79期会有志	ブルデンシャル生命保険㈱ ライフプランナー 永田 真悟 (92期) 連絡先: 090-1718-4441	六稜アドレスを使いませんか? ★現在ご利用いただいている団体★ chorus@rikuryo.or.jp rugby@rikuryo.or.jp sangaku@rikuryo.or.jp http://rikuryo.or.jp/emails/
「ラ・ヴィ・アン・ローズ」 (新風舎刊) ISBN4-7974-2457-5 小説家 マルキ明子 (Akiko Marquis) (97期、バレー部、旧姓: 横岸) Rue de la Synagogue 1 2900 PORRENTREY, Switzerland E-mail: akiko.marquis@freesurf.ch	祝130周年 		昭和54年卒・92期 徳岡 浩二 代表取締役社長 徳岡昌昌建築設計事務所 MASAKATSU TOKUOKA ARCHITECTS 〒530-0047 大阪市北区西天満6丁目3番11-205号 TEL (06) 6199-0701 FAX (06) 6199-2223 E-mail: koji@tokuoka-ao.co.jp http://www.tokuoka-ao.co.jp/
ゼロからの資産形成をお手伝い ファイナンシャルプランナー 田村 誉大 (旧名: 眞) (103期、バレー部) 大阪市中央区南本町1-2-7-5F (有) リンクス tamura@links-g.co.jp http://www.links-g.co.jp	電子メールを始めたら… 同期のMLに参加してみませんか? http://rikuryo.or.jp/doukikai/ 同期のMLを立ち上げたい時… 相談に乗ります!!メールください webmaster@rikuryo.or.jp		
三栄薬品貿易株式会社 会長 森井 日出夫 (58期) 大阪市中央区淡路町1-4-10 06-6202-8522	中出外科 院長 中出 隆三 (58期) 八尾市東久宝寺3-11-7 0729-22-6737	西沢医院 西沢 禎造 (58期) 大和高田市市本町13-13 0745-52-2266	愛を持って統合しよう! あい統合税理士法人 代表税理士 上野 弘之 (剣道部 72期) 豊中市新千原町1丁目2番1号 千里中央センタービル4F TEL 06-6832-2626 (代) FAX 06-6832-7001 http://www.aizunetaxi.jp E-mail: aizog@zairiishojin.com
㈱古平真建築研究所 古平 真 (ケニス部 85期) 東京都港区三田4-8-15 TEL 03-5484-3512 FAX 03-5484-3513 http://www.archicode.com E-mail: kodaira@dream.com	関西学院大学 評議員・理工学部教授 尾崎 幸洋 (80期) 〒669-1337 三田市学園2-1 TEL 079-565-8349 FAX 079-565-9077 http://www.sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ozaki/ E-mail: ozaki@ksc.kwansei.ac.jp	和泉法律事務所 和泉 征尚 (68期) 〒530-0047 大阪市北区西天満4-3-17 千代田ビル TEL 06-6365-1805 FAX 06-6365-1806	国立情報学研究所 情報制度論研究部門 助教授 博士(国際公共政策) 岡田 仁志 (96期) http://www.nii.ac.jp 著書『サイバー社会の商取引』丸善情報学シリーズ4
Good-will 高松建設 代表取締役 会長 高松 孝之 第68期昭和31年卒 代表取締役 社長 高松 孝育 第70期昭和33年卒 代表取締役 副社長 久保 棟男 第70期昭和33年卒 専務取締役 奥嶋 保 第71期昭和34年卒 監査役 宮永 文夫 第70期昭和33年卒 本社: 〒532-0025 大阪市淀川区川新北野1丁目2番3号 東京・千葉・埼玉・横浜・名古屋	六稜会館完成 お祝い申し上げます 80期一同	母校のますますの御発展をお祈り致します 砂辺税理士事務所 税理士 砂辺 信男 社会保険労務士 (81期) 事務所 〒565-0847 吹田市千里山月丘7-5 メゾン千里山101 TEL 06-6337-0712	寄田公認会計士事務所 公認会計士 税理士 寄田 和宏 (88期) 〒541-0047 大阪市中央区淡路町2-1-13 大塚第1ビル306号 TEL 06-6233-8388
	東洋大学経済学部 助教授 博士(経済学) 上村 敏之 (102期) http://www2.toyo.ac.jp/~ucumura/ ucumuratoshi@hotmail.com	大谷クリニック 院長 大谷 遷 (64期) 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-9-9 TEL 06-6441-1980 FAX 06-6441-0189 E-mail: ohtanicki@io.ocn.ne.jp HP: http://www8.ocn.ne.jp/~ohtanicki/	母校と同窓の皆様のご発展をお祈りします。 中村紘毅法律事務所 所長弁護士 中村 紘毅 (昭和38年卒、75期) 大阪市北区西天満4-2-2 ODI法律ビル503号 TEL 06-6364-6780 FAX 06-6364-5699 E-mail: nakamura@nakamura-lawoffice.com
	良き伝統・校風と共に 母校の益々のご発展を祈ります 無留井 宏昌 (昭和29年卒、66期)	ML参加者募集中 88期メーリングリスト (昭和51年卒業) 現在参加者210名 kitano888-owner@egroups.co.jp	社会保険労務士 キャリアプラン大田 大田 晶子 (88期) 大阪市北区紅梅町2-1 TEL 06-6881-2148 E-mail: akiota@ronde.palala.or.jp

なにわ橋法律事務所 弁護士 津 田 禎 三 (51, 52, 53期) 大阪市北区西天満1-2-5 大阪J Aビル12階 TEL 06-6364-0241(FAX) 06-6364-4800	山本次郎法律事務所 弁護士 山 本 次 郎 (62期) 大阪市中央区北浜2-1-26 北浜松岡ビル6階 TEL 06-6228-1922(代) FAX 06-6228-1918	祝130周年 母校の益々のご発展を お祈り致します 加 藤 友 彦 (62期)	学校法人 上田学園 上田安子服飾専門学校 大阪総合デザイン専門学校 上 田 哲 也 (コーラス部(校声会) 84期) 〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目5-8 E-mail: t-ueda@uedagakuen.ac.jp URL: http://www.uedagakuen.ac.jp
＝物産六稜会＝ 三井物産における集まり、 数々相談役(57期)を輩出して年数回の会合を実施。 未入会の方は是非E-mailにて下記に御連絡下さい。 連絡先: 三井物産株式会社 ナノテク・ニューテック事業創出部 石 崎 晃 司(103期) E-mail: k.ishizaki@mitsui.com Tel: 03-3285-5855	祝 創立130周年 六稜73期会有志	皆様のご活躍をお祈り致します 丸山英敏法律事務所 弁護士 丸 山 英 敏 (昭和35年卒、72期) 〒530-0047 大阪市北区西天満2-10-2 志田ビル10階 TEL 06-6365-6185 FAX 06-6365-5338	六稜ホールに電子ピアノを寄贈しよう! キャンペーンご協力ありがとうございました。 北野高校コーラス部OB・OG会 稜 声 会 http://rikuryo.or.jp/chorus/
医療法人 朗源会 大隈病院 おおくまリハビリテーション病院 医学博士 大隈 義彦(66期) 〒660-0814 尼崎市杭瀬本町2-17-13 TEL 06-6481-1667(代) FAX 06-6481-4234			母校の益々の発展をお祈り致します 米田総合法律事務所 弁護士 米 田 宏 己 (野球部 昭和28年度) 大阪市中央区瓦町3-5-7 長和ビル TEL 06-6204-1585 FAX 06-6204-1977
頑張れ柔道部!! アルテック株式会社 代表取締役会長 由 利 和 久 (柔道部 68期) 東京都新宿区四谷四丁目四番一 YM新宿ビル TEL 03-5363-0898 FAX 03-5363-0929 yuri@altech.co.jp http://www.altech.co.jp	祝六稜会館 竣工		谷卓司 98期 知的興味心も いつまでも ? http://idesign.co.jp
損害保険各種お取り扱い パソコンよろづ相談承り 石 原 綱 三 (99期・六稜山岳会事務局長) ishihara@tcct.zaq.ne.jp http://www.tcct.zaq.ne.jp/ishihara/	愛国心を育む教育を望みます 株式会社カメダデンキ 代表取締役社長 亀 田 喜 一 (72期) 〒570-0043 宇口市南寺方東通6-18 TEL 06-6997-5500 FAX 06-6997-5525 noi@kameden.com http://www.kameden.com	純米酒『六稜』 灘酒造(株) 社長 植 田 伊 織 (映画研究部 73期) TEL 0798-65-3221 FAX 0798-65-3224	阪神百貨店6階 ゴルフガイドコーナー 藤 田 政 江(旧姓: 細谷) (55期) 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目13番13号 TEL 06-6341-2345-5566
74期「みなわ会」11月1日 還暦を記念してピカピカの六稜会館で会いましょう。 詳細は郵便で送付			
祝 創立130周年 六稜70期会有志	エスパシオ 21 特優貸・賃貸マンション 邑 上 治 兵 衛 (山岳部 68期) 大阪市北区中津7-3-2 TEL 090-4642-3833 E-mail: jihee@nota.dti.ne.jp	母校の益々の発展を お祈り致します 山 本 圭 子 (78期)	祝 創立130周年 六稜58期同窓会
頑張れ北野 灰井司法書士事務所 灰 井 正 起 (昭和35年度) 吹田市南金田2丁目1-27-102 TEL 06-6380-1315 FAX 06-6380-2529	六稜七十八期同期会  祝百三十周年		祝 創立130周年 佐 藤 功 (62期) 〒540-0014 大阪市中央区難波寺町8-14 難波丸国 TEL 06-6762-5400 FAX 06-6762-2810
母校の益々の発展をお祈りいたします。 自見医院 自 見 弘 之 (70期) 大阪市淀川区十三本町1-21-23 TEL 06-6301-3962	母校の益々の発展をお祈りいたします。 真宗佛光寺派西光寺 住職 壽榮松 正 信 (74期) E-mail: my8m-sent@asahi-net.or.jp		母校の益々の発展をお祈りいたします。 公認会計士事務所 北 浦 康 弘 (71期) TEL 06-6363-3339
母校の益々の発展をお祈りいたします。 新原総合保険事務所 新 原 健 市 (サッカー部 62期) TEL 06-6393-3300	母校の益々の発展をお祈りいたします。 日本フェース株式会社 菅 正 徳 (69期) TEL 06-6203-7521	母校の一層の発展を祈ります 京都大学工学研究科社会基盤工学専攻 ジオフィジックス分野 教授 若 田 譲 (日本学術会議第19期会員 74期) 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL 075-753-6405 FAX 075-753-4776 E-mail: ashida@kumst.kyoto-u.ac.jp	
同窓会はあなたの熱意で 支えられています。 同窓会事務局長 新 原 章 弘 (サッカー部 65期) TEL 072-738-2846	King of Kings TEL 06 6345-3100 劉 由 紀 (81期) 大阪駅前第一ビル B 1	マヅラ TEL 06-6345-3400	住所が変わった時は… 落ち着いたら御一報ください。 http://rikuryo.or.jp/notice/ 同期の不明者をご存じの方は… 御一報ください!! http://rikuryo.or.jp/unknowns/

平成15年度第46回総会報告

6月6日●千代田区丸の内の皇居お堀端にある東京商工会議所ビル8階「東商スカイルーム」にて開催された。

出席者は180名にのぼり、大阪からご来賓として母校校長・中垣芳隆先生、母校教頭・鎌田俊一先生(81期)、下村孝夫先生(81期)、六稜同窓会副会長・山本次郎氏(62期)、六稜同窓会事務局長・新原章弘氏(65期)の方々にご出席頂いた。

全体進行は当番期である84期生(昭和47年・1972年卒業)が担当した。

第一部●総会

午後6時から第一部総会が開始された。司会は84期の藤村吉男氏が担当した。

大山利雄・東京六稜会会長(56期)の開会挨拶に続き、中垣芳隆・北野高等学校校長にご挨拶頂いた。中垣校長からは母校近況と大学進学状況を含めた教育事情についてお話を頂いた。

続いて山本次郎・六稜会副会長にご挨拶頂き、同窓会館の建設状況のご報告と同窓会館募金のお礼を述べられた。

その後、黒岩暎一・東京六稜会事務局長(75期)から平成14年度会計報告原案が提示され、原案通り満場一致で承認された。



第二部●記念講演

「変貌する大学とナノテク研究」

辻 康之・北海道大学教授(84期)

司会の山崎吉朗氏(84期)より辻康之教授の北野時代が紹介され、引き続き、辻教授ご本人にご講演いただいた。

独立法人化を中心に大学教育の抱えている現状の課題と問題認識に引き続き、ご専門のナノテク(nano technology)についてお話頂いた。

ナノテクと言う難解な概念を「日本列島を1mとすると、ナノはゴマツブ」という表現と、美しいシンメトリカルな分子モデルのスライドにより判り易く説明頂き大変好評であった。

第三部●懇親パーティー

森治久氏と和田登志子さん(ともに84期)の開会の辞で懇親パーティーが始まった。

最初に、当番期代表・藤村吉男氏の挨拶に続き、大阪から駆けつけて頂いたご来賓として、これまで母校での同窓会ご担当でこの4月に母校教頭へご昇格された鎌田俊一先生(81期)、その後任として同窓会ご担当になられた下村孝夫先生(81期)、六稜同窓会事務局長新原章弘(65期)、事務局員久保田静(73期)さんよりご挨拶をいただいた。

来賓ご挨拶のあとは母校の池田雅文先生(84期)の出題された北野高校クイズで会場中盛り上がった。



最後は、この4月に東京地区の大学等に入学された新会員紹介、新会員代表の挨拶、次期当番期85期の紹介と続き、元母校応援団長・早瀬隆昌(84期)の指導の元、校歌「六稜の星」を全員で高らかに謳い上げ散会した。

次回総会は、平成16年6月3日(木)午後6時より同会場の東商スカイルームで開催の予定。

(中村紳一・84期)



※東京六稜会の活動を支える世話役のお二人
大山会長(右)と黒岩事務局長(左)

東京六稜倶楽部について

今年の1月から、毎月第3水曜日の昼の時間に、東京六稜倶楽部を銀座に設営している。この倶楽部設立の趣旨は、六稜同窓の懇親を計ることを目的とする東京六稜会は、年に一度の総会だけで済ませているが、せめて月に一回位は、特定の日に特定の場所に集まってみてはどうかというところからスタートした。余り費用をかけず、余り手間暇をかけずにやるのは、なかなか難しいことであるが、ともかく試行錯誤的な気持ちでやってみようということで、この1月からオープンしたのであった。

ただ、集まって食事をするだけでは、ということで、同窓を中心とする卓話を計画し、これまで、次のように実施されてきた。

1月	奥村康氏（73期）	不老と長寿
2月	//	癌と免疫
3月	牟田悌三氏（俳優）	私の人生
4月	渥美和彦氏（59期）	21世紀の医療
5月	前田昌宏氏（70期）	どうなる日本経済
6月	箕島紘一氏（75期）	絵画の岩波文庫
7月	國定浩一氏（71期）	阪神ファンの経済効果

卓話も好評で、これまでのところ、延べ430名の御来会を得ることが出来た。各回毎に事前の案内は原則的には行わないが、会場を我々だけで専有するため、正直言って「来場者が何名であるか」ということを気にしながらの運営である。

おかげさまで前述の様な来場数を得ているために、50名の責任量を割ることなく来ているのが、やれやれと思いながら、毎月毎月、受付等の事務、講師の選定等に尽力して下さっている委員の諸兄姉に、有難く感謝している。

これまでのところ、時間帯の関係もあるが、どうしても、現役を卒業された方が多く参加されている。現役の方でも、昼の時間の何分かを割いて、来会されるようにするためには、どういうニーズにあった企画を立てるか、また、その企画をどのような手段で広報するのかということが、当面の次の課題だと思っている。

5月の会合のときに、65期の方が、同期の大隅徳保氏を中心にして開催されている「インターネ

ット俳句会・65句遊会」の合同句集をもって見えられ、希望者に配布しておられた。こういったことは、年に一度の総会では見られなかったことである。趣味を以てする六稜交流の場に進むことが出来れば、結構なことだとも思っている。

8月以降の卓話スケジュールは次の如くである。

- ・8月20日 松本徹三氏（70期）
「日本ケータイ文化が世界を変える」
- ・9月17日 坂本幸弘氏（70期）
「頭のいいヤツ悪いヤツ」
- ・10月15日 生田章一氏（83期）
「有田焼とヨーロッパ文明の出会い」

面白いテーマが並んでいると思うが、多くの方のご来場を願いたい。

（大山利雄・東京六稜会会長・56期）

●東京六稜倶楽部

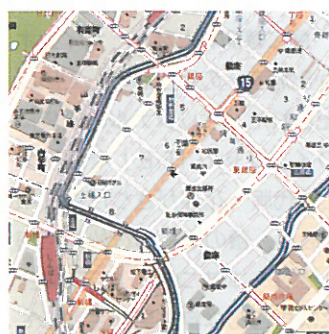
毎月第3水曜 AM11:30～

会費：2,000円

会場：銀座ライオン七丁目店

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-20

電話：03-3571-2590(代)



銀座7丁目付近 ©Alps Mapping co.,Ltd.

●各地六稜会の幹事さま

このページでは、東京六稜会の総会開催についてご報告をいたしました。六稜同窓会としては全国各地での六稜会を支援しております。

すでに地域六稜会としての組織体を運営して頂いている幹事の方、いまから地域六稜会を立ち上げようと奮闘してくださっている世話人の方、ぜひご当地情報を同窓会事務局までお知らせください。

【同窓会事務局】 office@rikuryo.or.jp

PARTY REPORTS

(開催日順に掲載)

※紙数に限りがありますので、少なからず編集部にて要約させて載せておりますことを予めご了承ください。なお、原文は六稜WEB（ホームページ）の「六稜News」欄に全文掲載されておりますので、御参考まで。

<http://rikuryo.or.jp/news/>

福井栄一『上方学』出版記念パーティ

2月8日●お堅い銀行マンから一転、上方文化評論家となった福井氏(97期)。上方舞に魅せられ経済の世界から「美」の虜となった彼が初の自著を出版した。1月8日の発売以来、本人も驚くほどの売れ行きで紀伊国屋梅田店の新刊コーナーを席巻しているという。

今日はその出版記念のパーティ。「10年後の上方文化を担う」若手を中心に80人あまりの応援者が駆けつけた。司会の中脇健児さんは学生時代より福井氏と懇意になり、昨年めでたく伊丹ホールに就職を果たしたという…上方文化発信のブレーンの一人である。地盤沈下の甚だしい商都大阪では「小劇場」が次々と姿を消している。会場の扇町ミュージアムスクエアも昨年末にビルの老朽化に伴い閉館を決めたアートのスペースのひとつ。福井氏が自らの出版記念の会場をここに選んだのも、氏のささやかなレジスタンスだろうか。

2時間の宴はあっという間に幕切れとなり、サイン本が出席者への手土産として出口で配られた。オリジナルの紙袋には氏のイニシャル「F.E.」で銀杏葉を象った現代版・花押がさりげなく染め抜かれており、蕾のほころび始めた梅の枝がそれぞれ一本ずつ挿されていた。上方には、まだこんな粋な男が生息しているようだ。(谷卓司、98期)

六稜観梅会2003

2月22日●厳しかった冬のせいか曇天にもかかわらず春を待ちわびる100名近くの参加者が梅林公園記念碑前に集った。参加者多数のため幾つかのグループに分かれて記念写真を撮った後、宴の会場



KKRホテル大阪14階オリオンの間に移動した。

宴会の出席者は73名であった。12時をまわって新原章弘事務局長(65期)から新六稜会館についての話ー正式な竣工はまだだが既に事務局は移転済みで同期会の会合や幹事会などに使用可能ーの後、平野豊氏(64期)の乾杯の音頭で宴が始まった。

中垣芳隆校長は、昨年逝去された野尻和正教諭の教育にかけられた情熱とそれに応えた教育委員会のこと、断郊競争での最終走者に対して自発的に大勢の伴走者が現れたこと等を紹介された。

植田伊織氏(73期)は昨秋できたオリジナル純米酒『六稜』ー題字は森繁久彌氏(44-45期)が揮毫ーを紹介、3月15日の「金鹿キキ酒会・六稜蔵びらき」について案内された。

そここでなごやかな歓談の輪が広がり、記念写真が撮影されるうちに午後2時となり、校歌を斉唱した後、来年の再会を約して万歳三唱で今年の観梅会は終了した。(今城文雄、78期)

内藤伸彦展2003

2月22日●今年のテーマは「青」。持ち味の岩絵の具の質感に加えて陶芸の泥や



ジェッソなどを巧みに織りまぜた、さまざまな表情の「青」の線がキャンパスの上を交錯していた。

「透明感や立体感など…かなり意識的にコントロールできるようになった」自らの表現を構成するために、素材から創り出すあくなき姿勢は、画家内藤の変わらない基本姿勢といえよう。「線と線が織りなす重層的なイメージが今年のテーマ」とも。信濃橋ギャラリー5にて。(谷卓司、98期)

六稜「金鹿」きき酒会2003

3月15日●曇天の空に時おり小雨の混じる寒い日ではありましたが、今年も灘酒造工場内にて清酒「金鹿」蔵出しキキ酒会が開催されました。開始時間の午後1時前から会場には100名を超える参加者が、今年蔵出しの清酒・濁り酒・しぼりたてを味わいつつ、大なべで作られたおでんや酒なべに舌鼓を打ち、老若男女・先輩後輩関係なくさまざまな話で盛り上がり、出会いの喜びの声をあげる風景も多く見られました。初めての参加者は酒造工程



ストも開催され、何回も飲み比べているうちに、酔いが回って回答どころではない御仁もおられました。(矢野修吉、101期)

古書ボランティア2003

3月26日●4月20日(北野の創立記念日)のプレ・オープンを目前に控え、内装や最後の調整作業が急ピッチで進む六稜会館に勤労挺身隊ならぬ古書ボランティア隊が再会を果たしました。

昨年、のべ240日×人もの貴いボランティアの手によって基礎台帳づくりが整備され、NITTSUのダンボールおよそ300箱に一旦収納された古書(推計約8,000冊)が、B1Fの収蔵室へと納められる日がやってきたのです。移動式書庫の関係で一度期に大勢の人が作業できない所為もあって、この日集まったボランティアは選りすぐりの精鋭6名。隊長の河津清子さんを先頭に、同期の64期から岩本裕子さん、興津純子さん、山口敏さん。68期から熊谷温子さん、佐野広子さん。

朝10:00に地下収蔵室へ集合。校内の先生方が半分ほどの作業を済ませて戴いていたおかげで、残る150箱あまりの古書をレール可動式の書庫へと収蔵して行きます。昼食後、六稜WEB取材班の矢野修吉さん(101期)も、デジカメ片手に駆けつけ…わずか半日ですべての作業工程を終了しました。

校内の担当の高橋先生や鈴木先生は「え?もう終わったんですか?」と驚愕。「お腰とか…大丈夫ですか」と痛く心配されていたものの、そこは手慣れた勤労挺身隊。誰が指示するものでもなく、自然に役割分担がなされ、動きに無駄がない。さすがは…わが国の戦中戦後を守った世代。



「家でこれだけ貢献したら、さぞかし嫁さんに感謝されるやろな〜」とは、黒一点の「クラ

のレクチャーを受け酒蔵の見学に。また、アルコール度と甘辛度を当てる恒例の聞き酒コンテ

フトマン」こと山口さん。ン十年前(?)に瀬戸の花嫁を買った山口さんは今、ご夫婦でインターネットにはまっておられるのだとか。

同窓会事務局からの「三時の差し入れ」のコーヒーで乾杯をした後、「仕事師」の一行は手際よく撤収作業に入り、解散しました。(谷 卓司、98期)

五九老北摂会 〜大いに歌う

4月16日●当会
は終戦の1945年
の3月に4年生で



繰上げ卒業になった59期生有志の同窓会です。名前の通り主に北摂地区の住民が中心で名簿の総員は現在22名。年に2〜3度、ご夫人もかなり参加され夕食と団欒を楽しんでおります。

先日の3月15日には、一寸変わった趣向の催しに参加し大いに賑わってきました。「金鹿キキ酒会」であります。土曜日の午後は生憎くもりでまだ肌寒さの残る日和でしたが、飲み放題に気を許した六稜人の意気大いに揚がり、散会予定を大幅に越す大盛会でした。盛会を締めるに当たり、五九老の有志は北中校歌「六稜の星」を男声四重唱で歌いました。この曲は我々が創立130周年記念として、男声合唱の第一人者・北村協一先生に編曲して頂いたもので、後輩に永く愛唱してもらいたいと希うものです。【P.11に関連記事】

当日の出席者は青山政雄・伊藤良彦・岩崎博・小出鈴三・高津明・小林辰雄・小林淳一・清水正彦・鈴木四郎・辻肇・樋口徳光・広瀬禎男・私。(北村雅一)

六稜71期(第26回)懇話会

4月19日●大阪全日空ホテルにて、出席者44名。71期は毎年春に大阪で、秋に東京で同窓会を開いております。大阪では同窓生による話題提供を中心に集まり、近況報告と旧交を温めております。

今回は同期の石川勇君に「天体望遠鏡を母校の屋上に」のテーマで話題提供してもらいました。同君は日本でも3本の指に数えられる反射望遠鏡の製作者で、世界7カ国に輸出。高校時代からの宇宙に対する思いが天体望遠鏡の製作に続いたことと北野高校の後輩達に「ものづくり」の体験と喜びを伝えるため、この計画を考えたとの由。

懇話会のあと、立食パーティで旧交をあたためました。幹事より同窓会館の寄付に対し目標(1100万円)を達成したお礼と、来年は卒業45年になるので盛大な同窓会を計画しているとの報告があり、再会を約して散会しました。(岸本博充)

北中記念碑の会2003

4月20日●今にも雨粒が落ちてきそうな生憎の曇天の下、今年も中津の済生会病院前には往年の北中生40余名が集った。11:00定刻に碑の前で記念撮影の後、佐野哲郎さん(61期)の指揮で校歌を斉唱。それぞれの北野への想いを歌声に託し、一本の力強いハーモニーが都心の喧噪の中をこだました。

一行は、例年のように会場をホテルサンルート梅田に移し、午餐のひとときを懐かしい話題に興じた。はじめに尼崎孝雄さん(58期)が乾杯の音頭。三砂栄次さん(48期)は中津校舎に1年間だけ通った学年。十三校舎への引っ越しの話題にふれ「大阪市内をまだ馬車が走っていた時代に、仮設の砂利敷きだった十三大橋を、北中生ひとりひとりが椅子やら机を担ぎながら渡った」という思い出話を披露された。地元、済美第一小学校出身の吉見徹さん(58期)によれば「北中は遊び場」であり、「動乱の時代だった」と当時を回想するのは北中から海軍兵学校に行った穴島昭治さん(57期)。宴たけなわで、めいめいが心象風景の中の「北野」を大いに語りあった。

トリは、やはりこの人。緒方裁吉さん(39期)。緒方洪庵の曾孫にあたる。大正13年のご卒業というから納得だ。「勉強の良くできた人は総じて早く逝ったよ」と冗談交じりに話される姿勢が、いつもながら豊饒としていて、とても97歳の年齢を感じさせない。「たばことお酒には注意してくださいよ。とくに両方たしなむ人は。適量が大事…」実に説得力のあるコトバに、一同が聞き入った。

最後に、来年の再会を約して、ひとときの宴は静かに閉会となった。(谷 卓司、98期)



六稜水友会 活動報告会

5月4日●六稜水友会は水泳部のOB会。3月の新



歓コンパ、夏のOB水泳大会のほかに今後若いOB達に活性化して貰うには何かインパクトのあるイベントを…と考えていました。そこで六稜会館の目的にまさしく一致すると思い、今回の実施となりました。結果、老若のOB、校長先生、顧問の先生、そして現役の部員達と多くの方々に参加して頂き、総勢70名を超える盛会となりました。

第1部は六稜水友会と北野高校の歴史をプロジェクターでスライド上映、第2部は交流パーティを同じ六稜ホールで実施いたしました。若手OBの準備と六稜会館の建物・設備のすばらしさと事務局の方々のご親切により、これまでにない盛り上がった会になりました。(千種康一、88期)

吹奏楽部 第6回定期演奏会

5月4日●開演直前、舞台袖で待機していた私を含む部員たちは皆「不安」と「期待」の両面の入り混じった緊張でドキドキしていました。そして舞台へ…客席を見た私たちの目に映る多くのお客さま。嬉しすぎて胸が熱くなってしまいました。

本番前日、「明日の一番最後の音。ホールいっぱい響かせた後、心の中にしまってください。きっと思い出になります。」という言葉、あるOGの先輩からいただきました。あのホールに満ちた音の響きは、私たちにとって一生忘れられない、最高の思い出となりました。あっという間だったけれど、輝いていた夢のような2時間でした。

「一人じゃ、こんなに絆の強い、こんなにまとまりのあるクラブは創れなかった、こんな素敵な思い出つくれなかった…」と私は心から思います。「北野プラス」というチームでプレイできて最高に幸せでした！応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

(服部友紀、116期)



65期卒業50周年総会

5月11・12日●奥浜名湖畔館山寺温泉「ホテル九重」にて盛大に開催されました。65期では毎年総会を開催、15年毎に一泊総会としています。今年は「50周年」という大きな節目で、恩師稲葉先生と関谷先生をお迎えし、国内はもとより海外からの出席者も得て、93名の一泊総会となりました。

初日は浜松駅に関東勢と関西勢が合流、貸切バスの分乗にてフラワーパーク散策、ホテル到着後は浜名湖サンセットクルージング。総会ではこの50年間「六五会」の世話人として活動していただいたI氏、T氏に六五会会長から感謝状を贈呈。懇親会は二次会を含めて予定時間をはるかにオーバー。特別室では「65句遊会」が合同句会の開催で句集のお披露目もあり和やか。

二日目はゴルフ組と観光組に分かれ、文化財指定の名庭園龍潭寺、奥山半僧坊大本山方広寺などを見学後、浜松駅にて来年の再会を約して解散。卒業50周年というのは大きな節目、古希を目の前にしてお互いが健康であることの有難さを、より一層自覚した総会でありました。(小野京子)



上山弘子・琉球藍染め展

5月15日●今年の出色は縦縞のワンピース。フランク・ステラのミ

ニマルアートを彷彿させる、吸い込まれるような藍の濃淡が織りなす、規則正しい縞模様はフロアでひときわ色彩を放っていた。紳士物ではチェックの手織り半袖シャツが目をつけた。初日とあってか小物も含め選りどり見どりの品揃えであったが、目当ての作務衣は既になかった。聞けば一足先に東京会場で出てしまったという。「工場を使って機械縫製すれば商品は大量にできる。けれども、それでは沖縄の宝物『美ら藍(ちゅらえ)』にならない」と上山は敢えて「手作り」に拘り続ける。亜熱帯の原風景が残されたヤンバルの森の中、オーシッタイの大自然で育まれたキツネノマゴ科の琉球藍は、清らかな水と、蜂蜜、泡盛、木灰を加えられ、丁寧にじっくり発酵させて作られる。化学薬品を一切使わず、伝統的な技法に拘り続けた結果が、世界一美しいと言われる琉球藍染めの

「青」を生み出しているのだ。

贅沢な自然の素材をふんだんに利用した「ホンモノの逸品」は、今後も量産される予定はない。そんな希少価値にも、ささやかな「豊かさ」を見出したいと思った。(谷 卓司、98期)

六稜・桃陰ゴルフコンペ～六稜の圧勝!!

5月22日●第22回六稜・桃陰親睦ゴルフコンペを、三田カントリー27で行いました。両校合わせて41名の参加がありました。団体戦は六稜クラブが圧勝しました。個人戦は1位・棚橋成伍(72期)、2位・山崎観巨恵(69期)、3位・鈴木良太郎(67期)でした。

次回は10月26日、会場は未定です。幹事は桃陰クラブ。(神宅寿昭、67期)

六稜ゴルフ・ジュニア天高戦

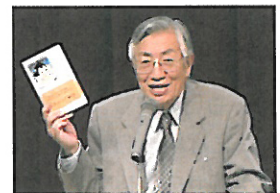
6月1日●台風後の風も雨もない曇り空の下、関西屈指の難コース『パイン・レーク・ゴルフクラブ』で北野vs天王寺の精鋭23名(北野:男子10名、女子4名、天王寺:男子9名)が集い、母校の名誉を賭けて日頃の腕を競い合いました。

今回は81期が多数参加してくれるなど初参加組が多く、一方で常連のシングルさんが、両校とも理事長杯予選のため欠席。競技方法を各チームの18ホール・ホールマッチに変更しました。

結果は2勝3敗1分で北野の惜敗。勝利チームに記念のTシャツを贈呈。懇親会では各自の自己紹介から戦いの報告と、いつもながらの和気藹々とした楽しい一時を過ごしました。次回は11月中旬に開催。多数御参加ください。(林田 隆、78期)

船場大阪を語る会に藤澤友吉郎さん

6月7日●道修町の御三家タケダ・タナベ・シオノギとともに海外に



もその名を知られる「藤澤薬品工業」その3代目の御曹司・藤澤友吉郎氏(59期)を講師にお迎えした。氏の醸し出す雰囲気も何処となくはんなりで往時の大店(おおだな)の「箱入り息子」を想像するには充分。7月には75歳を迎えられるそうだが、とてもその年齢にはお見受けできない。

幼少の頃より体が弱く欠席が多かったそうで、

正義の味方としてガキ大将と取っ組み合いのケンカをしたのが最初で最後だった。英語の授業中に「Here Sir」と答えて他の生徒に大笑いされる。外で友達と遊ぶこともなく、家庭では「芸事」を習わされ、芝居や活動写真（＝映画）、読書（『少年倶楽部』の「冒険ダンキチ」、「昭和遊撃隊」「猿飛佐助」「塚原ト伝」などの剣豪少年講談を読み耽る）、たまにプロ野球観戦、夏は別荘で海水浴…など、当時の大商家の家族生活や店員さん達とのふれあいを、今は懐かしい思い出として語られた。

「大阪は算盤(そろばん)勘定の町と思われがちだが、昔は小説の舞台になるほど豊かな町衆の生活文化があった。小さい頃は奉公人たちが珍しい菓や香料を扱う姿に心を躍らせたものだが、戦後は商家が姿を消し、近代的なオフィスビルの町に変わってしまい『春琴抄』の面影はもう無い」とも。

主宰の三島氏も「道修町で育った経営者も藤澤さんが最後になってしまった寂しさはあるが、日本の製菓のルーツがここにあることを21世紀に伝えて行きたい」と語った。（河津清子、64期）

八木啓代ライブ～noche bohemia

6月14日●小雨が降る中、大阪idd WORK SHOP（都島区）で八木啓代さん（92期）のライブがあった。そこは不思議な会場で、商業ビルの地階へ足を踏み入ると、足踏み式ミシンが置いてあったり、釣り電灯に蹄鉄がぶら下がっていたり…カントリーな田舎屋を象った、正にボヘミアンな様相がとってもアートな会場であった。

八木さんがステージに立たれるや否や演奏が始まった!!「そんなふうには人は生きる」…彼女独特の不思議な声が会場を包み込む。共演の吉田幸生さん(Piano)、西本諭史さん(Guitar)と息もピッタリ。ステージと観客が一体になれる距離感だった。歌の合間に大阪弁の楽しいトークを挟んで、日本とメキシコの両方に住まいを持つ八木さんならではの…の実体験に基づいた両文化の違いについて、ユーモアを交えていろいろと語ってくれた。前日の神戸でのライブの疲れも見せず、全



12曲を熱唱した八木さん。大阪のボヘミアの夜は、いつしか雨もあがっていた。（尾崎有紀、113期）

六稜ラグークラブ 創部80周年記念祭

6月22日●梅雨の合間を縫って、六稜ラグークラブ（＝北野高等学校ラグビー部）創部80周年記念祭が、母校北野高校において盛大に行われました。

北野高校ラグビー部は、大正12年春、伊藤次郎氏（39期）ら楯円球に魅せられて馳せ参じた人々により創設されました。以来、

80年、学校関係者をはじめ各方面のご支援、先輩諸氏のたゆまぬ努力により、幾多の困難を乗り越え、ラグビー界にもいささかの貢献をなしつつ、この佳節を迎えることができました。記念祭報告にあたり、改めて深く感謝申し上げる次第です。

記念祭は、午前中、時おり小雨がパラついたものの、何とか持ち直し、ラグビースクール（RS）の豆ラガーの親善試合や洛北高校との定期戦、古豪の招待校混成チームによるOB戦、引き続き式典、橋本聖子参議院議員の講演、懇親会と多彩なメニューで実施されました。（蛭川善夫、85期）



「亀岡詩情」

織田清・写真展

7月10日●7月4日から「ミノルタフォトスペース・大阪」（駅前第4ビル7F）で織田さん(64期)の写真展が開催された。



8年位前から「この頃、織田くんオカシインじゃない？サテは亀岡に恋人でも…」と仲間内で云われるほどに本業の合間を縫って彼の亀岡通いが始まった。1998年には第1回個展を亀岡市役所ホールで開催。以後、恋人亀岡への思いは多くの受賞名作となって実を結び、今もなお亀岡の地を撮り続けている。

とりわけ早朝・夕暮れ時に魅かれるという彼は亀岡の素顔を「朝霧の田園」「川霧の保津川界限」「白銀の冬景」「季節の花々」などで描写している。これら38点の作品で表される『亀岡の四季』は観る人を何時しか情感の世界に引き入れてくれるようだ。本業は獣医師の織田氏。動物愛護の温かい心根が作品の中にもほのぼのと宿っているように思えたのは私だけだろうか？今後も詩情豊かな作品を撮り続けて欲しいと思う。（河瀬清子、64期）

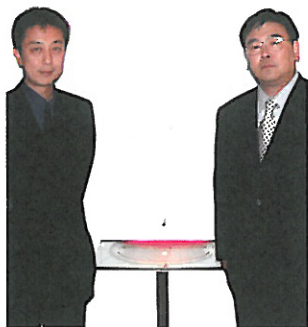
第14期別対抗ゴルフ ～雨中のコンペ、71期が制覇

7月13日●三田カントリー27で期別対抗ゴルフコンペを行いました。参加した期は13期にわたり、92名の方がプレイする盛大なコンペでした。団体優勝は71期。個人戦は1位・石井克己(75期)ベスグロ優勝でした。2位・栗井英朗(76期)、3位・三宮克薫(76期)でした。次回は9月7日(日)陸上部のお世話で行います。（神宅寿昭、67期）

美と美を味わう六稜グルメスポット 美美庵オープン

7月17日●大阪のビジネス街・淡路町に85期コンビがプロデュースする「美美庵(びびあん)」がオープンした。店名の由来は「美(食)」と「美(術)」が出会う隠れ家系ダイニング。

プロデューサーの田丸二郎氏は最近まで某大手商社で世界を飛びまわる名商社マンぶりを発揮していた。いっぽうクリエイティブ・ディレクターの竹山聖氏は新進気鋭の建築家として知られる。ご存じ六稜会館の設計者である。全く違うフィールドで活躍する二人が辿りついたのが「地元・大阪への回帰」だった。この場所で、自分たちが楽しめて、一生かけて携われるものを…という合言葉が美美庵をうんだ。



2人が大切にしているホスピタリティは随所に散りばめられている。エントランスには女性1人でも気軽に飲めるバーカウンター「Giraud's Bar」が



あり、オリジナル・カクテルをはじめ、シェリー酒やワイン、日本酒などがスタンバイされている。白いソファが印象的なウェディング・スペースでは、田丸家所蔵の源氏物語絵巻をはじめウォールホールやリキテンシュタインの現代アートも楽しめる「プチ美術館」となっている。地階のメインスペースは、用途に応じて3室のVIPルームやピアノが出現するほか、壁面には若きアーティストの作品が展示され、希望者に販売される「画廊」の機能も兼ね備えている。

期待の若き料理人が振る舞うのは京野菜と新鮮な素材を使ったコースがメイン。アラカルトもオーダー可能でパーティーメニューにも応じてくれる。関西のビジネスマンを支えるパワーランチも用意されている。基本的に平日のみの営業だが、土日・パーティ等の貸切などにも対応していくようだ。秋にはフライデーナイトのお楽しみ企画も準備中で、ジャズコンサートやカルテットなど、小規模ではあるが上質のイベントを提供したいとの由。幾重もの楽しみ方ができるレストラン「美美庵」。短時間の取材ながら、大阪で生まれ育ち北野で共に学んだ二人の熱き想いが伝わってきた。「素人の強みを生かした新しい食空間」が、今後どのように進化・深化を遂げていくのか…動向にますます目が離せない。（矢野圭子、110期）

明石歩道橋事故レクイエムコンサート

7月18日●永年コーラスを楽しんできましたが、このコンサートは明らかに自分たちの住む町であり近くの可愛い坊やも旅立ったのですから、気持ちがますます高揚していました。本番では涙を出すことなく全員しっかりと歌い上げることができました。二度とこのような経験をする人がないようにと若い新市長の言葉もありました。

今回感動したのは神戸学院大の学生さんたちの運営や警備面、募金面とあらゆる面でのボランティア。若い力に心から感謝しました。茶髪のお兄ちゃんが優しくてきばきと動いてくれました。彼らにとっても、こういう慰霊祭的な集まりのお手伝いは、きっと自分の人生の中で何か大切なもの



をしっかりと受け止めていることでしょう。

40分くらいの曲でしたが（前奏・間奏・朗読）、皆真剣に暗譜しました。きれいな曲ですから何時までも歌い続けられることを願っています。

リハーサルから舞台照明あわせ、立ちっ放しが多く、このようなステージも何時まで出来るか？と考えさせられましたが、孫と同じ年齢の女の子に「若い若い」といわれて、ちょっぴりいい気分になりました。（山田喜久子、66期）

講演会「手塚治虫と昆虫」

7月27日●マンガの神様TEZUKA Osamu を知らない人は少ないが、彼が無類の昆虫少年であったことを知る人もまた少ないのではないだろうか。彼の生誕の地、豊中市岡町で『手塚治虫と昆虫』と題する講演会が開催された。パネリストには彼の実弟・手塚浩氏と北野中学時代の無二の親友・林久男氏(59期)とが卓を並べた。共に蝶類仲間である。

はじめに浩氏が、兄・治と昆虫との出会いについて、小学校時代の友人（「石原時計店」の御曹司、石原実氏）に手ほどきを受けて昆虫採集と標本作製に傾倒していったこと、宝塚昆虫館に兄が足繁く通っていたこと、その館報を40号集めて自分なりに一冊にまとめて装幀していたこと等を話された（これは現物を持参）。そして戦後、急に兄が昆虫から遠ざかった理由を「創作力の豊かな兄が現実と空想の狭間で昆虫に対してある限界を感じた＝それ以上に一線を越えることが昆虫に対する冒涇になることを恐れた」からではないかと推理して締めくくった。

次に、林氏が同じテーマで語った。手塚君との出会いは昭和16年4月。1年3組で背の低い者同士、同じ4班に配属されたこと、登山班（現山岳部）の新入生歓迎イベント・生駒登山の前日の説明会で「捕虫網を持参してもいいですか？」と挙手質問し



た手塚君の印象、農園実習にもポケットに毒ビンをおぼせ土中から這いずり出てくる甲虫を採集していた思い出や、教室に標本や図譜を持参して昆虫趣味の普及・啓蒙に努めていた姿について述べた。宝塚の手塚邸に招かれ、遂に自分も昆虫好きに染まっていた過程や、その後、眞面・能勢にしか生息しないウラジロミドリシジミの採集に出かけた思い出（マンガ『ゼフィルス』参照）等にも触れた。北中でのクラブ活動については、最初「地歴班」に所属するも、テーマが広すぎて飽きたらず、魚類に興味のあった今中君（銘菓「鶴屋八幡」の御曹司、今中宏氏）と3人で「動物愛好会」を結成し、機関誌『動物の世界』を発行したこと。その後、今中君が抜け「六稜昆虫研究会」と改称、機関誌『昆虫の世界』を発行したこと。他に手書きの随筆集『昆虫つれづれ草』『春の蝶』や図鑑『甲虫図譜1』『甲虫図譜2』の発行等を紹介した。

そして、戦争の影が暮らしの随所にはびこっていた時代背景…自由主義の長坂校長は遂に更迭され、軍国主義の権化・田村校長に代わったことや、戦局の悪化にともなう物資不足、さらには4年生になると勤労動員により自由時間も制約され、雑誌や本の制作が困難に陥ったことにも触れた（マンガ『紙の砦』参照）。多産された手塚作品の多くに共通する特徴に、この少年時代に得た昆虫に対する知識（メタモルフォーゼ＝変体、など）や悲惨な戦争体験が色濃く反映していることを指摘して、発表を締めくくった。

会場には、ほぼ定員一杯の…80名を超える手塚ファン・昆虫ファン・六稜関係者が詰めかけ、会場の後部では「オサムシ」の昆虫標本や、北野の同級生で写真家の岡原進氏が撮影した「手塚治虫の意外なポートレート」なども展示され、休憩時間には人だかりができていた。（谷 卓司、98期）



やっとう会（80期・同期会）開催【予告】

11月1日●大阪国際会議場で六稜同窓会の総会が開催されますが、終了後18:00より、お隣のリーガロイヤルホテル・セラーバー(B1F)にて同期会を開催します。80期の皆さま、多数で参加ください。

（80期幹事一同）

●事務局だより#007

同窓会を変えよう。 それはあなた！

六稜同窓会事務局長
新原章弘(65期)



今季会報41号は、130周年特集等を含めて32ページの増大号といたしました。

同窓会を取り巻く緑の環境も、校舎改築や会館建設等の周辺工事により随分手が加わりましたが、今年もセミが大きく励ましのエールを送ってくれております。

ご存知いただいておりますように、六稜会館は今春完成し、すでに大阪府への採納も終わりましたが、正式オープニングは11月1日の130周年総会当日に行うことになっております。

今130周年の記念式典をめざして最後の工事、学校正門とその周辺環境整備工事が集中的に進められております。

完成している会館では、すでに同窓会事務局が館内での業務を進めておりますし、目的に応じて会員の皆様での館内使用も始まっております。

●会館建設募金者芳名プレートの作成

三年間に亘る会館建設募金は終了いたしました。この期間における募金者・社のご芳名を会館内に記名プレートとして掲げさせていただきます。いまその最終整備中ですが募金者各位の氏名・文字を慎重に確認させていただいております。

プレート アルミアルマイト処理（白色）
60cm×120cm（15枚程度）
記名文字 シルクスクリーン印刷（濃灰色）
設置場所 1階サロン北側内壁面
設置時期 15年9月中旬予定

●会館運営

事務局では募金終了後の業務として、いよいよ会館運営の大きな事業が目前にあります。会館が単なるハコに終るのか、モニュメントなのか、それとも大いなる六稜の魂を宿す100年の館になるのかは、会館運営のこれからの方向づけと、会員各位の今後のご協力と活用如何に懸かります。会

館運営委員会としては、各期学年理事他との連携にて、9月以降トークリレー等のプログラムがすでに組まれております。【P.10に関連記事】

●構造改革

いま喧しい政治とは当然異なった対極にある同窓会ではありますが、政治課題にあるような構造改革が同窓会にも必要な時期にきていると考えます。130年の歴史が「六稜」を大きく形づくっておりますが、常に述べて参りましたように、今の同窓会がこの運営で良いのかをもっと真剣に詰める時期にきていると感じます。

130周年としてのこの節目、会館竣工のこの時期、北野の新時代へ即した同窓会の組織と体制について、今までに例のなかった理事・常任理事での合同会議が、6月以降継続して開催され、真剣に討議されております。

各期学年理事が明確に存在しない期があります。また、理事は存在するけれども、多忙等の事情で理事会に出席されない期があります。

いま同窓会としては、縦に繋がる運営をめざしております。各々の期がそれぞれの時代を反映させた同窓会運営を心掛けてこそ、生きた活動になるのではないのでしょうか。

●一人一人の意識

ホームページに各期ごと住所不確認者を掲載しております。いま130周年名簿の編纂に取り組んでいますが、住所確認の出来ない方々の調査には大変な手間を掛けております。転勤等の事情が存在したりで、当然住所変更が伴うことは判るのですが、住所変更ご連絡をぜひお願いしたいのです。

六稜会報は年二回の発行です。一回に26,000冊程度発行するのですが、住所不明で都度400冊程度が返ってきます。確認調査を繰り返して再発送に漕ぎ着けるのですが、この間の経費のムダを一度考えていただきたいのです。

ホームページをご覧になって、ご丁寧にご連絡をしてくださる方が居られる反面、「なぜ自分が不明者になっているのだ」と強いクレームをつけられる方もおられます。とは言うものご本人から連絡をいただけるのは誠に有難いことではあります。

今後は各期理事の方との連携で、住所の確認整備についても進めたいと思います。

2003.3→2003.7

会務報告・会計報告

<http://rikuryo.or.jp/office/>

会館運営説明

AV機器類設置明細説明

会館質疑

③会館採納について

④4月20日会館運営シンポジウム開催

⑤平成14・15年度一般会計予算・実績

⑥130周年記念総会推進状況

⑦「東京六稜倶楽部」報告

⑧同窓会関連会議年間スケジュール設定

■常任理事会（平成15年3月29日）

①会館建設募金関連説明

②会館見学質疑

追加工事内容及び会館完工予定等

平成14年度 六稜同窓会 一般会計【決算報告】

自 平成14年4月 1日
至 平成15年3月31日

科目	平成14年度予算	平成14年度決算	備考
●収入の部	円	円	
1 入会金収入	930,000	993,000	3,000円×331人
2 年会費収入	21,000,000	18,668,236	6,228人 前年比 80%
〃 (平成15年度分)		7,140,000	2,382人 前年比100%
3 総会費収入	1,250,000	640,000	5,000円×128人 前年比102%
4 寄付金収入	0	0	
5 利息収入	2,000	62	
6 名簿・出版物等売上	3,000,000	652,970	
7 基金会計より受け入れ	5,000,000	5,000,000	
収入合計	31,182,000	33,094,268	

●支出の部			
[1] 運営費	14,600,000	12,498,834	
1 人件費	2,400,000	2,400,000	
2 雑給	2,500,000	2,585,000	
3 旅費 交通費	1,000,000	1,033,550	
4 通信費	900,000	422,069	
5 印刷 事務用品費	1,300,000	969,608	
6 什器 備品	2,000,000	1,678,425	
7 会議費	600,000	438,441	
8 総会費	2,500,000	1,577,001	
9 慶弔費	700,000	732,221	
10 図書費	0	12,275	
11 雑費	700,000	650,244	
[2] 広報費	12,300,000	9,625,542	
1 WEB関連費	1,800,000	952,130	
2 会報発行関連費		71,910	会報No 38
	4,300,000	3,951,687	会報No 39
	4,300,000	3,065,390	会報No 40
3 広報全般経費	1,900,000	1,584,425	
[3] 全国大会出場援助費	200,000	230,000	
[4] 各種事業援助金	400,000	347,680	
[5] 基金会計積立金	0	0	
[6] 教育環境整備援助費	500,000	500,000	
[7] 同窓会館建設関連費	7,600,000	4,250,370	
1 旅費 交通費	1,000,000	63,700	
2 通信費	3,000,000	2,011,413	
3 印刷 事務用品費	2,500,000	1,734,118	
4 会館運営引当	1,000,000	256,364	
5 雑費	100,000	184,775	
[8] 130周年記念行事仮払	0	151,515	
[9] 予備費	592,756	0	
支出合計	36,192,756	27,603,941	

次年度会費前受分	7,140,000
本年度収支差額	▲5,010,756 ▲1,649,673
前年度繰越金	5,010,756
次年度繰越金	0 3,361,083

平成15年度 一般会計【予算】

科目	平成15年度予算
●収入の部	円
1 入会金収入	1,020,000
2 年会費収入	21,000,000
3 総会費収入	0
4 寄付金収入	1,400,000
5 利息収入	0
6 出版物等売上	1,000,000
7 130周年記念グッズ売上	4,000,000
8 基金会計より受け入れ	10,000,000
収入合計	38,420,000

●支出の部	
[1] 運営費	9,600,000
1 人件費	2,400,000
2 雑給	2,200,000
3 旅費 交通費	1,000,000
4 通信費	400,000
5 印刷 事務用品費	1,000,000
6 什器 備品	600,000
7 会議費	500,000
8 総会費	0
9 慶弔費	800,000
10 図書費	0
11 雑費	700,000
[2] 広報費	12,127,577
1 WEB関連費	1,200,000
2 会報発行関連費	会報No 40 1,127,577
	会報No 41 4,300,000
	会報No 42 4,300,000
3 出版会運営経費	1,200,000
[3] 全国大会出場援助費	200,000
[4] 各種事業援助金	400,000
[5] 基金会計積立金	0
[6] 教育環境整備援助費	500,000
[7] 同窓会館関連費	6,500,000
1 雑給	600,000
2 旅費 交通費	200,000
3 印刷 事務用品費	1,000,000
4 什器備品 設備費	300,000
5 光熱費	2,300,000
6 設備管理費	2,000,000
7 雑費	100,000
[8] 130周年記念行事仮払	9,848,485
[9] 予備費	2,505,021
支出合計	41,781,083

収支差額	▲3,361,083
前年度繰越金	3,361,083
次年度繰越金	0

以上の通り 平成14年度一般会計報告を致します。

平成15年5月23日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄

本会計の正確であることを認めます。

平成15年5月23日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭兒

■常任理事会・理事会（平成15年6月21日）

- ①平成14年度決算報告
- ②平成15年度予算説明
- ③六稜会館建設募金終了と会館建設の報告
- ④会館建設募金最終報告
- ⑤会館建設収支報告
- ⑥会館への募金者記名様式説明
- ⑦六稜会館運営方針説明
- ⑧北野高校改築第4期工事進捗説明
- ⑨130周年記念総会開催説明
- ⑩130周年記念名簿発行報告
- ⑪東京六稜会報告
- ⑫同窓会運営新体制説明

■拡大理事会（平成15年7月26日）

6月21日開催の理事会・常任理事会にて、同窓会の



新体制への移行および組織変革について、山本副会長から意見が述べられた。

これにともない、7月26日に臨時拡大理事会が開催され、理事および常任理事全員が招集された。

当日は、会館竣工および、130周年記念式典を花道として、会長・副会長の退任及び、常任理事の総退任と新組織への移行について、慎重かつ熱意こもる論議がなされたが、結論にはいたらず、8月30日に再度拡大理事会開催での審議を経て、9月20日の常任理事会にて決議されることとなった。

平成14年度 六稜同窓会 基金会計【決算報告】

科目	決算	摘要
●収入の部	円	
1 前年度繰越金	97,739,970	
2 利息収入等	98,106	
収入合計	97,838,076	

●支出の部		
1 一般会計へ	5,000,000	
2 建設会計へ	56,500,000	
支出合計	61,500,000	

次年度繰越金	36,338,076	
--------	------------	--

以上の通り 平成14年度六稜同窓会基金会計報告を致します。

平成15年5月23日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。

平成15年5月23日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭児

平成14年度 六稜同窓会 名簿会計【決算報告】

科目	決算	摘要
●収入の部	円	
1 予約金	2,888,000	722冊×4,000円
収入合計	2,888,000	

●支出の部		
1 返信用封筒印刷	235,620	ひかり工房
2 後納郵便料	264,480	新北野郵便局
支出合計	500,100	

次年度繰越金	2,387,900	
--------	-----------	--

以上の通り 平成14年度六稜同窓会名簿会計報告を致します。

平成15年5月23日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。

平成15年5月23日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭児

平成14年度 六稜同窓会 募金会計【決算報告】

科目	決算(3年日)	累計(平成14年度5月1日 平成15年4月30日)	摘要
●収入の部	円	円	
1 募金収入	43,347,855	313,044,242	
2 利息収入	6,656	403,634	
3 その他	0	3,000	
収入合計	43,354,511	313,450,876	

●支出の部		
1 建設会計へ	158,163,610	278,643,610
2 手数料等	191,855	940,700
支出合計	158,355,465	279,584,310

前年度繰越金	148,867,520	
次年度繰越金	33,866,566	

以上の通り 平成14年度六稜同窓会募金会計報告を致します。

平成15年5月23日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。

平成15年5月23日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭児

平成14年度 六稜同窓会 建設会計【決算報告】

科目	決算(2年日)	累計(平成14年度5月1日 平成15年4月30日)	摘要
●収入の部	円	円	
1 募金会計より	158,163,610	278,643,610	
2 基金会計より	56,500,000	56,500,000	
収入合計	214,663,610	335,143,610	

●支出の部			
1 設計・工事監理料	4,725,000	23,625,000	アモルフ
2 工事代金	203,000,000	304,500,000	松村組
3 館内備品他	6,161,610	6,161,610	マッコフ・システム アモルフ
4 電話工事代金	409,500	409,500	サンノーベル
5 陶板移設工事	367,500	367,500	大塚オー・ミ陶業
6 印紙代	0	80,000	(松村組)
支出合計	214,663,610	335,143,610	

以上の通り 平成14年度六稜同窓会建設会計報告を致します。

平成15年5月23日 六稜同窓会会長 稲畑勝雄
本会計の正確であることを認めます。

平成15年5月23日 六稜同窓会監事 滝井尚三
六稜同窓会監事 栢田圭児

六 稜 文 庫

六稜会館に新設されました「卒業生の著書を
紹介するコーナー」…それが、六稜文庫です。



『手塚治虫少年の実像』
故 泉谷 迪(59期) 著

四六判・214頁・ISBN4-409-16084-2
人文書院・1,700円[税別]

平成11年4月10日京都清水寺で59期の同窓会が開かれた。泉谷は東京から出席した。会食の席は、たまたま私の隣であった。それが彼と言葉を交わした最後となった。既に健康を損ねていた彼は、多くの書き溜めた原稿を遺したまま、その年の秋に世を去った。それが何であったかは彼の池附*の数人の親友が知っていた。彼は池附のクラス会で「手塚論」を執筆中であることを洩らしていたのだ。遺稿は彼等の手で整理編集されて出版された。その作業に携わった一人が私のゴルフ仲間であった。終盤の校正段階で、彼から「これでよいか、見てくれ」と北中時代のグラを手渡された。私は北中4年間のうち3年生、4年生と2年間、手塚と同クラスだった。特に親しかったわけではないが、その頃、既に級友のなかでは、ある種の有名人であった彼の言動は何かにつけて気になる存在であった。

手渡されたグラは事実関係のみをチェックしたが、訂正すべきところは見当たらなかった。世に多くの手塚論が存在する。テレビや新聞雑誌などにもいまだに彼が採り上げられる。もとよりすべてを見たわけではないが、中学のクラスを共にし、社会に出てからも、在京の59期の同窓会毎に顔を合わせてきた私にとっては、「ちょっと違うんじゃないの」と違和感を抱かすものが多い。まして小学校からの親友であり、中学校時代を共有してきた泉谷にとっては多少の違和感どころか、きっと我慢ならないくらいのギャップを感じたのであろう。それを埋めるべく筆をとったのが本書である。

【藤沢薬品工業相談役・藤澤友吉郎・59期】



『ラ・ヴィ・アン・ローズ』
マルキ明子(97期) 著

A6判・256頁・ISBN4-7974-2457-5
新風舎文庫・750円[税別]

(旧姓)根岸明子さんは高校時代は幅広くどの教科にも旺盛な好奇心を抱き知的世界を広げていきます。特に英語に対しては人一倍情熱を燃やしていきます。日本の大学卒業後も、英語に磨きをかけるためにイギリスに留学します。そこで、将来の夫君となるロジエさんに出会います。そして1991年末、結婚準備のためにスイスにやってきます。ロジエさんの出身地であるカントン・ジュラで生活がはじまり、やがて慣れない土地で二人のお子さんの子育てに追われ自分を見失いそうになりました。その頃日本から取り寄せたあるミュージシャンの音楽や彼の言葉に励まされます。「人は、一人一人何かよいものを持っているはず。それを突き止めることが大切。そして他の人と同じことをやっていたはダメだ。人と違うことをやれ。そのためには、自分自身と対話をし、できることを捜せ。」この言葉に勇気づけられ迎り着いた結論が「小説を書くこと」でした。そう決心して程なく、容態が悪くなっていた義祖母さんのお見舞いに行く機会がありました。その帰り道、この小説の構想が閃き、ついに今春の出版へと漕ぎ着けました。ジュラの貧しい農家に生まれながらも遅く子沢山の家庭を築いていったスイス人女性セシルの生きざまを通して、幸せな生き方って何だろうと問ひかける小説であり、当時の歴史を知る大河小説に仕上がっています。

※「グリエツィ」(スイス在住日本人向け情報誌)より一部引用しました。

【2年時クラス担任・英語科・中田彦彦】



『上方学』～知ってはありますが、上方の歴史とパワー
福井栄一(97期) 著

A6判・276頁・ISBN4-569-57884-5
PHP文庫・571円(税別)

一昨年の10月「上方研究会」が立ち上げた御
霊神社での「上方シンポジウム2001」という催し
で、私もパネリストを依頼され、福井さんも会の
副代表、パネリストとして参加しておられ、同席
したのが初対面と記憶している。

上方文化評論家という肩書きに驚いたが、この
『上方学』を読んで、この人の「上方文化」にかけ
る熱情と知識、造詣の奥深さに驚嘆した。

この著作には、関西に住み、関西で育った者にと
って、魂の根源をくすぐる心地よさがある。

無理な標準語でなく、福井さんそのものの語り
口で、上方を論ずるのに有効な微妙な味わいを表
現し尽くし、「上方文化」を、鬱陶しくなく楽に吸
収できるという驚くべきワザを発揮された。

一度、ある別の席で隣になった時、活字媒体
だけでなく、自分が表現者として「上方文化」を
表現し演じたいと話されたのが印象的だった。彼
の髪型や服装にも、その計算とセンスがくっきり
と現れているようだ。

とにかく、コンパクトなくせに膨大な内容を分
かりやすく面白く活字にした、この本を手に取り
一読すると、「上方」に積もる山のような文化の魅
力をイヤでも再確認し堪能させられることだろう。

【劇作家・土井陽子・64期】

体操部『70周年記念史』【制作中】

寄稿・資料提供にご協力ください。

〒663-8172 西宮市甲子園二番町1-44

加賀完一(57期) TEL.0798-48-0189



『北野高等学校 野球部年史』
北野高等学校 野球部年史編集委員会 編
B5判・334頁・5,000円

わが六稜野球部は、その歴史を振り返ると、明
治18年頃が草創期と見られており、我が国で野球
が始まったのとはほぼ時を同じくします。

その120年余りに及ぶ栄光の歴史と、受け継が
れている伝統の重さを、貴重な写真も交え纏め上
げたものがこの年史です。

明治～昭和初期の部の歩み、戦後の輝ける甲子
園時代から現在に至るまでの60期から114期まで
の各期のキャプテン・代表者が中心となって、当
時の野球に賭ける情熱を綴ったものであります。
また、部員だけでなく、顧問の先生方、監督、コ
ーチの人物像、更に部員を陰で支えてくれたマネ
ージャー、皆の思いを感じ取ることのできる内容
となっています。

野球部関係者だけでなく、六稜同窓生すべての
方にご覧いただきたい一冊です。

【六稜野球部OB会事務局・岩田孝夫・93期】

●六稜人の著書をご紹介します。

自薦・他薦を問いませんが、書店売りされてい
る一般書籍（またはそれに準ずるもの）に限り
ます。研究論文・報告書・雑誌記事の類は除き
ます。

自薦の場合は自署サイン本を1部「六稜文庫」
まで御寄贈くださいますようお願いいたします。
他薦の場合は書誌データと紹介文（500字見当）
を郵送または電子メールにてご一報ください。

【六稜文庫】 books@rikuryo.or.jp

〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内



「水まきボランティア募集！」HRメモを通じて突然発信したSOSに6名的女子生徒がすぐに応じてくれました。3年生1名、2年生5名の花を愛する乙女達です。オーケストラ部と吹奏楽部を中心とするメンバーで、夏休み期間中、朝夕、草花にやさしい時間を選んで水まきをしてくれています。「秋には中庭に咲くコスモスが見たい」「私は紫陽花が大好きです」とそれぞれに草花に対する想いをこめて水やりに汗を流してくれています。

昨年までは園芸同好会が活動していたのですが、今年度は残念ながら部員がいません。中庭のプランターの花もこの夏が見納めになるかも…困っていたところに「救世主あらわる」です。ボランティアの努力に報いることができるよう、また9月には秋の花が皆の目を楽しませるよう、8月後半には新たに苗を植える予定です。

■職員異動

【御退職】

吉田ゆみ先生(社会H9～,在職6年) 86期

下村 肇先生(生物S62～,在職16年)

吉田久昭先生(地学H1～,在職14年)

山口典子先生(国語H4～,在職11年)

栗津加代子技師(S50～,在職28年)

二宮泰子先生(国語常勤講師H14.11～)

※吉田久昭先生と栗津加代子技師は、ご定年で退職されましたが、再任用で引き続き北野高校に勤務されています。また、吉田ゆみ先生と下村肇先生は、現在、神戸海星女子学院高校に勤務されています。

【御転任】

辻本昭信教頭(教頭H13～,在職2年)

高槻北高校へ

竹田伸二先生(数学S59～,在職19年)

生野高校へ

太田 始先生(保体H6～,在職9年)

能勢高校へ

堀池尚文先生(英語H7～,在職8年)

芥川高校へ

それぞれ御転任になりました。

【御着任】

次の教職員の方々をお迎えしました。

鎌田俊一先生(教頭) 81期

北野高校教諭より昇格

岩倉哲也先生(国語)

島本高校から

福井清文先生(数学)

柴島高校から

岩見利克先生(生物)

少路高校から

小西喜朗先生(生物)

東淀川高校から

佐々木里佳先生(英語) 100期

鳥飼高校から

小林秀道先生(保体)

新任

吉田久昭先生(地学)

引き続き教諭として再任用

三谷和歌子先生(期限付養護助教諭)

昨年度に引き続き着任

藤井洋子先生(国語常勤講師)

北野高校非常勤講師から

栗津加代子技師

引き続き技師として再任用

【非常勤講師等】

【御退任】前田隆志先生(保体) 106期

※現在、勝山高校で教諭としてお勤めです。

【御着任】沢登 啓先生(物理)

野澤香代子先生(化学)100期

米川和弘先生(保体)

廣澤 静先生(保体)

■平成15年度 全国大会・近畿大会出場激励金

【山岳部】

・全国高等学校総合体育大会 兼 第47回全国高等学校登山大会

田端俊大・後藤田文也・西村彰仁(3年)・竹内宏明(2年)

※男子団体10年連続出場

保野玲子・船田綾子・安原 瞳・高井知子(3年)

※女子団体2年連続出場

【陸上競技部】

・第56回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会

【男子 4×100mリレー】 石田昌樹・小林哲平・

藤井大輔・炭谷隆夫・水本貴士・山下幹雄(3年)

【女子 400mハードル】 早川美緒(3年)

【女子 走高跳び】 三野愛菜(2年)

【卓球部】

・平成15年度近畿高等学校卓球選手権大会

日名翔太・村井祥吾(3年)

※以上の団体及び個人に対して、規定に従って激励金が授与されました。ありがとうございました。また、陸上競技部は第71回近畿陸上競技選手権大会にも以下の種目で参加します。激励金の授与式は9月に行なう予定です。

【男子 400m】 藤井大輔(3年)

【女子 4×400mリレー】 早川美緒(3年)、国府美奈子・

平林明葉・寺川加奈子・吉田朋代・三野愛菜(2年)



■国際交流活動報告

【派遣】3月15日～3月31日

2年生7名と英語科の中野玄教諭が姉妹校のセントウッド高校を訪問しました。同校の授業や、地区の桜祭りに参加するなど、貴重な体験を通して、両校の交流を深めることができました。

【受入】6月30日から7月6日

セントウッド、レイク高校から生徒4名、教員1名を受け入れました。ホストファミリーとの生活、本校での学校生活、あるいは箕面小学校の訪問など、短い期間でしたが充実した交流の機会がもてました。さよならパーティーは、協力して交流を進めている阿武野高校の関係者も招き、六楼会館で開かれました。本校生徒の進行によるアットホームな雰囲気の中、人と人とのつながりという大切な実を結んだこの素晴らしい会が、本校における交流の形や意味に示唆を与えているように感じます。

■クラブだより

.....運動部(50音順)

【合気道部】 現在部員の人数は2年生男子6名、女子5名、1年生男子3名、女子11名の計25名です。練習は主に平日のみで、昼・放課後は毎日練習をしています。また月に一度師範の先生に練習を付けていただいています。その日には、OB・OGの方もたくさん来られるので、普段よりも密度の高い練習が出来、とてもうれしく思っています。部員一人一人がそれぞれ課題を持って常上のレベルを目指し、日々練習に励んでいます。六稜祭では演武会を催し、日頃の成果を発揮しています。これからもそれぞれの目標に向かってがんばっていきますので先輩の方々も是非ご指導にいらして下さい。部員一同心よりお待ちしております。

【応援部】 現在部員0。休部状態で廃部の危機に瀕している。夏の高校野球府予選などの応援は野球部員有志、体育大会のクラブ行進の折りの応援披露は運動部キャプテンの協力によって継続されている。応援部の復活はひとえに運動部の躍進にかかっている。奮起せよ、六稜健児!

【器械体操部】

[活動] (月)火水金土(日)

技術の向上を目指し、日々練習に励んでいますので、お忙しいとは思いますが、OB・OGの皆さん、指導にきてください。

[大阪府春季大会] (4月)

女子2部：団体総合5位/個人総合6位

【剣道部】 春になり、3年生が引退し、また今年も世代交代がありました。今から一年間、残った1、2年生で先輩方やOBさん方の教えを忘れず、しっかり頑張っていきます。そして全国大会に出場できるように一生懸命稽古に励んでいきます。今年の剣道部の活躍にご期待ください!

[大阪高等学校新人大会]

Aブロック大会 (予選)

団体：男子=ベスト4

女子=1回戦敗退

個人：男子=本選出場

女子=1回戦敗退

[新人大会 (本選)]

団体：男子=1回戦敗退

[北摂剣道大会]

団体：男子=1回戦敗退

女子=1回戦敗退

【硬式野球部】 今年は市岡との定期戦にも勝ち、今は最後の夏の大会に向けて日々練習に励んでいます。最後まで精一杯戦いますので、応援よろしくお願いします。

[春季大会] (4/6)

1回戦●3-7金光大阪

[市岡定期戦]

○14-6市岡

【サッカー部】 夏の大会は、9月21日の対校戦が私たちの初戦になります。その日に向けて、毎日一生懸命頑張っています。日々の練習を大切にし、試合ではベストを尽くしたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

[新人戦]

1回戦○2-0啓光

2回戦●0-2東住吉

[春季大会]

1回戦不戦勝

2回戦●0-0産大付 (PK4-5)

【山岳部】 現在山岳部は、3年生7人、2年生9人、1年生3人、計19人で活動しています。今年もインターハイ出場が決まりました。食堂を拠点として、夏のアルプスへの合宿に向けて、日々練習に励んでいます。現在部員募集中DE-す。

[大阪府春季登山大会]

男女とも優勝 (男子は10年連続)

インターハイ長崎大会出場決定

【柔道部】 OBさんへ 部員が少なく、試合でよい成績を残すことができていません。楽しく練習していますが、やはりそれだけでは…。強くなるために少しでもご指導いただければ幸いです。

[第52回大阪府高等学校新人柔道大会]

(11/23) 出場

[第21回北地区学年別柔道大会] (11/25)

●0-3関西大倉 (1年)

●1-2英真学園 (2年)

[第22回大村杯争奪高校生柔道大会] 出場

[天高戦] (6/29)

点取り●0-4天王寺

抜 き○北野3人残して勝ち

部員は1年生が3名、2年生3名

(2003年7月1日現在)

活動時間 平 日 15:30~17:30

土曜日 13:30~16:00

【水泳部】 現在は1年生が23名入部し、60名近い人数で活動しています。また今シーズンは4月29日より泳ぎ始めています。部員全員、個人の目標へ向けて、日々練習を重ねています。[東大阪大会] (4月、東大阪室内プール) 女子50mバタフライ2位 男子50mバタフライ3位 [中央大会] (6月、なみはやドーム)

【ソフトボール部】 3年生が引退して、活動休止状態になってしまいました。けれどいつか復活すると信じているので、そのときはまた応援をよろしくお願いします。

[つくし杯] (3/27)

予選リーグ：

●0-7市岡

●1-8嵯峨野

決勝リーグ：

○10-0箕面

○10-0高槻北

●2-8山田

[インターハイ予選] (6/1)

●1-8八尾

【卓球部】 月曜・隔週木曜がトレーニング。火曜・隔週木曜が体育館1階剣道場。水曜・金曜が体育館2階で練習しています。男子ダブルス近畿大会出場決定!大阪ベスト8を目標に活動中です!!

[国体予選]

男子シングルス=ベスト64

[高校選手権]

男子学校対抗=ベスト16

男子シングルス=3回戦

男子ダブルス=ベスト16

【女子テニス部】 後期には新コートが使えるそうです。それまでは近くの河川敷公園で毎日練習しています。11月には130周年記念試合を行いたいと考えていますので、そのときには是非打ちに来てください。

【男子テニス部】 今年は校内にコートがなく、毎日学校から自転車で10分ほどのところにある海老江公園コートまで行って練習しています。練習の内容も単調になっているので、先輩方に来ていただいて、新しい練習の方法などを教えていただきたいと思います。

[サンケイジュニア] (3月)

シングルス=ベスト8、32

ダブルス=2組が本選出場

【女子バスケットボール部】 3年生が引退し、2年生7人、1年生6人 (うちマネージャー1名)、計13人で活動しています。部員が少ないので、いつでも私たちの練習相手にいらして下さい。

[新人戦地区予選] (1/12~)

1回戦シード

2回戦●48-60

[天王寺高校定期戦] (2/16)

○57-44

[インターハイ予選] (4/20~)

1回戦○61-35清明学院

2回戦○76-46日根野

3回戦●33-68枚方津田

【男子バスケットボール部】 僕たちは顧問の先生やOBさんたちの熱心な指導のもとに、毎日練習を重ね、自分たちの満足できるプレイを目指しています。ぜひ一度練習を見に来てください。

[新人戦北地区大会]
1回戦●49-68吹田 (1/12)
[天高戦] (2/16)
●65-72天王寺
[四校定期戦] (4/6)
○対澁
●対神戸
[インターハイ予選]
1回戦○186-20成城工業 (4/27)
2回戦○108-49府立高専 (4/29)
3回戦●75-82豊中 (5/3)

【バドミントン部】 2年生16人、1年生12人で楽しく頑張っています。毎日朝練、昼練、放練を欠かさずしています。最大の目標はインターハイ出場です。OB・OGの皆さんが指導をに来て下されば嬉しいですね。僕たちの技術向上のために力を貸して下さい。お待ちしております。
[第50回大阪高等学校バドミントン選手権大会]
男子シングルス2部優勝
男子ダブルス2部3位
[第57回大阪高等学校春季バドミントン競技会]
男子ダブルス1部ベスト16
[春季豊能地区大会]
団体戦男子チーム優勝

【女子バレーボール部】 人数は少ないですが、楽しく頑張っています。OG・OBの皆さん応援、そしてご指導よろしくお願いします。
[西田杯]
○2-0東豊中
●0-2追手門
●0-2北千里
[豊能大会]
●1-2少路
●1-2渋谷
[春季部別]
●0-2東大谷
●0-2岸和田
●0-2花園
[近畿大会予選]
1回戦○2-0プール学院
2回戦●1-2山田高校

【男子バレーボール部】
[春高バレー] (1/19)
○2-1岸和田
●0-2大商大
[西田杯] (3/22)
○2-0桜塚
○2-0箕面学園
●0-2福井
[春季部別] (4/20)
○2-0北千里
○2-0吹田東
●0-2桃山学院
セット率で、1部1位
[豊能地区大会] (5/3・4)
○2-1桜塚
●1-2刀根山

○2-0池田北
○2-0箕面学園
○2-1刀根山
大会優勝
[近畿大会予選トーナメント] (6/8・15)
○2-0箕面
○2-0登美丘
●0-2桜宮

【女子ハンドボール部】 現在1年生14人、2年生10人でOBさんの指導の下、練習を行っています。1年、2年の仲が良く、皆でブロック大会1位通過、中央大会で1勝を目標として練習に励んでいます。
[ブロック大会] (4/29)
●5-15箕面
●8-12桜塚

【男子ハンドボール部】
[春季総体]
ブロック大会を3位で通過し、6月1日に中央大会に出場しました。
[中央大会]
1回戦○25-21三国ヶ丘 (6/1)
準々決勝●14-26此花学院 (6/7)
5、6位決定トーナメント (6/8)
1回戦●13-31大体大浪商
(大阪ベスト8)

【ラグビー部】 秋の全国大会予選に向けて、毎日きびしい練習に励んでいます。夏には2回の合宿があり、辛く苦しい時もありますが、部員一同「花園出場」を目標に頑張ります。
[近畿大会大阪府予選(新人戦)]
1回戦●14-57都島工
[大阪総合体育大会(春季大会)]
2回戦○40-0八尾
3回戦●10-42関西創価
[定期戦] (6/22)
●14-17洛北

【陸上競技部】
[2003年IH大阪大会]
男子100m準決勝出場
200m準決勝出場
400m決勝8位
4×100m 決勝4位(近畿大会出場)
4×400m 準決勝出場
女子400mH決勝6位(近畿大会出場)
高跳び決勝6位(近畿大会出場)
4×400m 準決勝出場
[2003年IH近畿大会]
男子4×100m準決勝出場
女子400mH出場
高跳び出場
[2003年大阪選手権]
男子 400m準決勝出場
4×100m 決勝7位
4×400m 決勝7位
女子400mH決勝7位
4×400m 決勝6位

.....文化部(50音順)
【演劇部】 今年は5月に新入生歓迎の公演を、そして六稜祭でも多目的ホールにて公演を行いました。部員は少ないのですが、いろいろな方に協力していただいで公演をしています。

【オーケストラ部】 私たちオーケストラ部は1年生15名、2年生25名、3年生26名で、現在は1・2年生40名で活動中です。毎週月～土に音楽室にて練習しています。
[新入生歓迎演奏会] (4月)
ヘンデル作曲「水上の音楽」、久石譲作曲「ジブリメドレー」
[定期演奏会(六稜祭)] (6月)
モーツァルト作曲「フィガロの結婚」より序曲、ビゼー作曲「組曲アルルの女」よりファランドール、レナード・バーンスタイン作曲「ウェストサイドストーリー」メドレー
[夏季合宿] (8月)
[130周年記念式典] (11/1)
[第1ブロック音楽祭] (11/2)
[大阪府高等学校音楽会] (11/23)

【化学研究部】 1年生が1名入ったので、12名になりました。毎週月・火・金曜日に化学実験室で活動しています。現在は、ヨウ素デンプン反応のデンプンの違いによる色の違いについて調べています。
[六稜祭(演示実験)] (6/8)
・銀アセチリドの爆発
・テルミット反応
・液体窒素の実験
・粉塵爆発
・化学発光(ホタルの光)
・割れないシャボン玉
・振動反応
・炎色反応硝化綿

【コーラス部】 ここ2年ほど活動のなかったコーラス部ですが、新入部員も入り、このたびめでたく復活いたしました。先輩方の期待を背負いつつ、ますますの隆盛を目指して頑張っていきたいと思っています。8月3日には、先輩方と一緒に箕面メイプルホールで開催される「北野高校コーラス部フェスティバル 2003」に出演します。
[六稜祭参加] (6/8)

【写真部】 部員が入らずとうとう3年を迎えました。あとは体育大会のみの活動です。皆様どうもお世話になりました。これを見た生徒さん、次の写真部を作るのはアナタです!

【新聞部】 部員0、崖っぷち状態の六稜新聞部です。なにとぞよろしくお願いします。(切実です)

【吹奏楽部】 主に多目的ホールで活動

しています。3年生27名、2年生26名に今年は1年生が32名加わり、ますます明るくにぎやかになりました。私たちの作り出す音楽が多くの人の心に届くことを目指し、練習に励んでいますので、温かく見守っていただければ幸いです。

[春季合宿] (3/20~3/23)
ヤマハミュージックキャンプ合歓の郷
[新入生歓迎演奏会] (4/18)
[第6回定期演奏会] (5/4)
池田アゼリアホール…「エル・カミーノ・レアル」「メジャー・バーバラ」他
[六稜祭] (6/8)
「鉄腕アトム」「ベスト・フレンド」
「YMCA」他
中学生体験入学において演奏 (7/5)
「YMCA」「ベスト・フレンド」

【生物研究部】 現在部員は5人で引き続き組織培養を中心に活動しています。今後はフィールドワーク活動も増やす予定です。また、部誌「LUPE」の39号を発行しました。郵送を希望される方はご連絡ください。

[文化芸術祭]
・プロトプラストの作成と細胞融合
・キクの花卉とサボテンの茎からの組織培養
・テッポウユリの花粉の発芽について
[六稜祭]
・組織培養無菌操作体験

・レインボーソウルミシ
・大阪大学基礎セミナー受講途中報告
・昆虫標本展示
[発表]
・キクの組織培養～これまでの経過～

【美術部】

[芸文祭コンクール展] (1月末)
ユースアートギャラリー…油絵5点を出品しました。
[第1ブロック展] 箕面文化センター…油絵4点、水彩1点を出品しました。
[年誌の表紙制作] (3月)
[球技大会] (5月)
プログラム表紙制作/2年
[六稜祭] (6月)
看板制作/3年
共同制作「モアイ」「ちょうちん」/2年
去年の六稜祭以後の新作展示として油絵16点、水彩1点 (1~3年)。1年生も入って、初めての油絵を頑張って描きました。1本の丸太から苦心して彫りだしたウディチェーンも会場をにぎわしました。更に、初の試みとして、2・3年で1枚のつながった絵も描きました。3年生はパレットも作品として展示しました。今年は283人の方に来ていただきました。多くのご感想、本当にありがとうございました。
<今後の予定>
[高校展] (8月末)



曹訪 (美術部 2年)

[水泳大会] (9月)
プログラム表紙制作/2年
[体育大会] (10月)
プログラム表紙制作/2年
看板制作/1年

【放送部】 1年生女子3名、2年生女子1名の計4名が入部しました。人数が増えたので、お昼の放送を中心に楽しく活動しています。
[NHK杯予選] (6/8)

【漫画研究同好会】 現在、3年生女子のみで活動しています。随時部員募集中。毎年六稜祭と文芸祭に合わせて部誌の発行を続けています。

大学合格者数一覧 (H15.4.30現在)

国立	男	女	計	宮崎大学	男	女	計	龍谷大学	男	女	計
帯広畜産大学		1	1	合計	140	75	215	大阪薬科大学	2	14	16
北海道大学	7	1	8					関西大学	35	48	83
東北大学	5	1	6	公立	男	女	計	近畿大学	12	12	24
筑波大学	3		3	東京都立大学	1		1	摂南大学	5	5	10
埼玉大学		1	1	岐阜薬科大学	1	1	2	関西学院大学	33	47	80
千葉大学		1	1	名古屋市立大学		2	2	甲南大学	2	12	14
東京大学	2	1	3	滋賀県立大学		1	1	神戸女学院大学		9	9
東京学芸大学	1		1	京都市立芸術大学		3	3	神戸薬科大学		9	9
東京工業大学	2	2	4	京都府立医科大学	1		1	武庫川女子大学		8	8
一橋大学	3	1	4	大阪女子大学		1	1	その他(5名未満の大学)	26	35	61
横浜国立大学	1	1	2	大阪市立大学	5	5	10	合計	276	330	606
富山県立医科大学		1	1	大阪府立大学	12	7	19	短大	男	女	計
金沢大学		1	1	神戸市外国語大学	1	1	2	京都医療技術短大	1	1	2
信州大学	1		1	神戸市看護大学	1	1	2	京都市立看護短大		1	1
名古屋大学	1		1	神戸商科大学		1	1	京都女子短大		1	1
三重大学	2	1	3	姫路工業大学		1	1	武庫川女子短大		1	1
滋賀大学	1		1	奈良県立医科大学	1	2	3	合計	1	4	5
京都大学	34	2	36	広島県立大学		1	1	準大学等	男	女	計
京都工芸繊維大学	6	2	8	広島女子大学		1	1	防衛医科大学校	1		1
大阪大学	43	18	61	下関市立大学	1		1	気象大学校	2		2
大阪外国語大学	2	2	4	合計	23	29	52	防衛大学校	2		2
大阪教育大学		3	3	私立	男	女	計	水産大学校	1	1	2
神戸大学	18	20	38	慶応義塾大学	7	2	9	合計	6	1	7
神戸商船大学	1	2	3	中央大学	6	5	11	専修学校等	男	女	計
奈良女子大学		7	7	東京理科大学	4	1	5	合計	2	2	4
和歌山大学		1	1	早稲田大学	22	10	32	就職	男	女	計
鳥取大学	2	1	3	京都女子大学		7	7	合計			0
岡山大学	1		1	京都薬科大学	2	14	16				
広島大学	1		1	同志社大学	51	25	76				
山口大学		1	1	同志社女子大学		16	16				
徳島大学	1	3	4	立命館大学	63	49	112				
愛媛大学	2		2								
九州芸術工科大学		1	1								

母校創立130周年記念行事のご案内 いよいよ11月1日(土)開催！ 母校新校舎＋六稜会館の竣工披露も兼ねて

【多彩な行事】学校式典、同窓会館セレモニー、スポーツイベントに引き続き、会場を大阪国際会議場（グランキューブ大阪）に移して、記念祝賀会を挙行します。併せて、想い出に残る記念品セットの頒布（有償）も行います。

祝賀会場

グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL 06-4803-5555 FAX 06-4803-5620
URL <http://www.gco.co.jp/>

記念講演

- ①「必ずしもエリートが成功するか」
- ②「一流を取材して感じたこと～なにがそれをわけるのか」

NHKキャスター
有働由美子 氏（99期）

大阪府立北野高校、神戸女学院大学を卒業後、平成3年NHK入局。主に報道リポーターとして大阪局に3年勤務。平成6年より朝のNHKニュース「おはよう日本」、平成9年から「サタデースポーツ」「サンデースポーツ」でスポーツキャスターとして活躍。現在は「ニュース10」（月～金22:00～）のスポーツコーナーを担当。



Yumiko Arita



※会場へ直接お越しになる場合は、リーガロイヤルホテルのシャトルバスがご利用いただけます。定員28名。
(JR大阪駅および淀屋橋からピストン運行)

主催

創立130周年記念行事実行委員会

共催(幹事期)

84期

学校内施設					グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)
体育館	多目的ホール	六稜会館 B1F・1F 3Fホール		グラウンド・テニス コート・球技コート	※大阪市北区中之島へのアクセス ■関西国際空港から ・JR「大阪駅」まで約55分。 ・南海電鉄で「難波駅」まで約30分。 ・空港リムジンバスで JR「大阪駅」まで約60分。 ■大阪国際空港(伊丹)から ・空港リムジンバスで「大阪駅」前まで約30分。 ■新幹線「新大阪駅」から ・JR在来線で「大阪駅」まで約5分。
生徒集合		記念展示 六稜サロン【1F】	六稜会館竣工 記念セレモニー		
第1部					
学校式典					
小休憩					
第2部					
記念講演①					
昼休憩(在校生は以後フリー)		陶壁画(和太守卑良さん・74期の寄贈作品)の除幕式を挙行。		スポーツイベント 各部「現役vsOB」との親善試合、または定期戦・対抗戦など	
※記念行事は自由参加とし、上映中・演奏中の出入りも緩やかに扱う。	記念演奏会 オーケストラ部 吹奏楽部 コーラス部	六稜ギャラリー【B1F】	記念映像		
会場間移動					
タクシー：自費、一部チャーターバス／50名×2台×2回(12:30発・13:45発)※指名者優先：無料					
※グランキューブ大阪へのアクセス ●JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市バス(53系統「船津橋行」または55系統「鶴町四行」)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ ●JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分 ●JR東西線「新福島駅」(2番出口)から徒歩約10分 ●阪神電鉄「福島駅」から徒歩約10分 ●大阪市営地下鉄「阿波羅駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約10分					記念講演②
					祝賀パーティ

六稜会報
No.41

発行日 平成15年9月1日
発行者 稲畑勝雄
編集委員 新原章弘・壽楽松正信・
鎌田俊一・谷 卓司
広告担当 田村誉大

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025 大阪市淀川区新北野2-5-13 府立北野高校内
phone.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
e-mail.office@rikuryo.or.jp
郵便振替.00990-4-68025
事務局 月 水 金(祝日は休) 10:00～17:00 北野高校内

編集 有限会社ティアンドティ・デザインラボ
デザイン <http://www.tdesign.co.jp/>
〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-4 錦屋ビル3F
phone.06-6882-0512 fax.06-6242-0833
印刷 株式会社ひかり工房
〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-2-11
phone.06-6641-6011 fax.06-6641-6012